

MEDIAPOINT HD

(Model: TC-2600)

取扱説明書

はじめに

このたびは MEDIAPPOINT HD をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、装置を安全にお使いいただくための使用上のご注意、セットアップ方法、操作の方法、および故障かなと思ったときの対処のしかたなどを説明しています。
本書をよくご覧になり、正しく安全にご使用ください。
いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

使用上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

警告マークについて

本書で使用している安全に関わる表示と、図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。

 警告	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	指示を守らないと、人が障害を負うおそれがある内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告表示の種類

	発煙または発火のおそれがあることを示しています。
	感電のおそれがあることを示しています。
	けがを負うおそれがあることを示しています。
	安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。
	安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。

電源に関するご注意

警告

	電源は AC100V ±10V(50/60Hz)の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると火災、感電の原因となります。
	電源コードの上に物を載せないでください。コードの損傷により、火災、感電の原因となります。
	電源コードの接続は、テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。
	電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	AC アダプタおよび AC ケーブルは、必ず本機に添付のものをお使いください。他のものを使用されると、火災、感電、故障の原因となります。 また、添付の AC アダプタおよび AC ケーブルを他の製品に使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

注意

	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードの損傷による火災、感電原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグおよび AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。感電の原因となることがあります。
	機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

保管および使用環境に関するご注意

警告

	本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
	設置環境の条件は温度 0～40℃/湿度 20～80%です（結露しないようご注意ください）。

注意

	本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	本機を不安定な場所（不安定な台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
	本機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちてけが、故障の原因となることがあります。
	ラジオやテレビの受信している付近で使用しないでください。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。
	本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズが入ることがあります。このような場合、本機の電源をオフにしてご使用ください。
	本機の通気孔に物を置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	本機の側面を 5cm 以上空けてください。

禁止事項

警告

	本機の近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。
	本機を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	本機内部の点検、調整、掃除、修理は危険ですから絶対にしないでください。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

注意

	本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れしないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本機の上に乗ったりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。
	本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをすおそれがあります。

異常時およびトラブルに関するご注意

 警告	
	万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
 	<p>万一、本機を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店または弊社ホームページより修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または弊社ホームページより修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>

 注意	
	落雷のおそれがあるときは、本機の電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控えください。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。
 	雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れに関するご注意

 注意	
	本機のお手入れの際は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。

廃棄時のご注意

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただくか、お買い求めの販売店にご依頼ください。

輸出する際のご注意

日本国外に輸出する場合には、日本国政府等の許可が必要です。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

商標・知的財産権について

- ・本製品には GNU General Public license (GPL)、GNU Lesser General Public license (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれます。上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードはご要望に応じて媒体を提供いたします。ただし、以下の点をあらかじめご了承ください。
- ・ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えできません。
- ・提供されたソースコードにより作成されるプログラムに関して保障はいたしません。
- ・ソースコードの提供期間は本製品の生産終了後、3年間までとさせていただきます。

媒体提供を希望される場合は、弊社ホームページよりお問い合わせください。

【お問合せ先 URL】

https://www.necplatforms.co.jp/product/mp_hd/

- ・本製品で使用しているソフトウェアの大部分は BSD の著作と GNU のパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。
- ・本製品で使用しているオープンソースコードについては、弊社ホームページよりお問い合わせください。
- ・Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Ethernet は、米国 Xerox Corporation の登録商標です。
- ・HDMI は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ・Polycom および Polycom ロゴは、Polycom Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

パスワード設定に関する重要なお知らせ

ネットワークを介して制御できる機器において、その制御用パスワードを初期値のまま運用しますと、悪意のある第三者による不正アクセスを許すリスクが発生します。不正アクセスにより機器が乗っ取られますと、情報漏えいのみならず、可用性や完全性を阻害してシステムに被害を生じさせたり、ボットネットによるサイバー攻撃の足場に悪用されたりする可能性があります。

当製品の初期パスワードは、あくまでも保守運用における初期設定のために設けられています。
初期設定時に必ずパスワード変更を行ってください。

もし初期パスワードのまま運用して不正アクセスの被害が発生した場合、**当社は一切の責任を負うことができません。**

なお、パスワード変更を行う場合、パスワードの強度が低い(桁数の少ない)、もしくは、容易に考えられるもの(例:「0123456789」、「abcdefg」、「password」、「Administrator」など)では不正アクセスの防止が困難です。

8文字以上で大文字/小文字/数字混在のようなもの強度の強いパスワードに設定を変更頂きますようお願いいたします。(パスワードは半角英数文字で63文字まで設定可能です)

《パスワード変更の方法》

本取扱説明書 p.65 環境設定 -管理者設定 をご覧ください。

目次

はじめに	2
使用上のご注意	2
目次	9
MEDIAPOINT HD の特長	11
セットアップ編	12
パッケージ内容を確認する	13
各部の役割	14
背面ラベルの貼付	19
接続系統図	20
設置について	27
セットアップウィザード	29
基本操作編	34
操作方法	35
テレビ会議を開始する	39
着信操作を行う	43
テレビ会議を終了する	43
専用カメラを操作する	44
専用マイクを操作する	47
プレゼンテーションを行う	48
操作メニュー (UI: ユーザインタフェース) を切替える	49
レイアウトを変更する	49
システム情報を表示する	50
通信ステータスを表示する	51
電話帳を編集する	52
装置設定編	60
各種設定を行う	61
環境設定	61
ネットワーク	70
ビデオ/オーディオ	77
Web ブラウザ編	83
Web ブラウザアクセス機能	84
ログイン方法	85
連絡リストの管理	86
プレゼンテーション速度調整	88
回線不安定時メッセージの表示	88
2 地点追加ライセンスの登録	89
システム設定の管理	90
システムのアップデート	91

仮想リモコン.....	93
ログアウト方法.....	94
困ったときは.....	95
故障かな？.....	96
MEDIAPPOINT HD の情報提供.....	97
よくある質問と回答.....	98
付録.....	99
アフターサービス.....	100
ポート番号一覧.....	101
仕様.....	102

MEDIAPOINT HD の特長

- **フルハイビジョン画質を低コストで導入**

会議参加者の表情や会議の空気感もリアルに伝わる解像度 1080p の高画質テレビ会議を実現します。日常のミーティングから重要会議に至るまで、幅広い場面で活用できます。

- **PC プレゼンテーション機能を標準搭載**

PC プレゼンテーション機能を標準搭載し、テレビ会議映像を表示しながらプレゼンテーション資料の共有ができます。細かいグラフや詳細な図面データだけでなく、テレビ映像と同等 (30fps) の動画を表示でき、より密度の濃い情報共有を実現します。

- **映像・音声を USB メモリに保存**

USB ポートを装備。会議中の映像や音声を USB メモリに録画でき、欠席者も会議内容を共有できます。

- **多彩な表示レイアウト**

さまざまな表示レイアウトを装備。リモコンのレイアウトボタンにより、会議にあわせて、表示レイアウトを簡単に切替えることができます。

- **最大 6 地点の多地点会議機能を標準搭載**

2 地点間での会議に加え、複数拠点間を接続した多地点会議機能を標準搭載しています。多地点会議機能により、最大 6 地点での会議を実現でき、各拠点のメンバー間のコミュニケーションを活性化できます。

- **アイコン表示によるスムーズ操作**

システムの接続・設定は、画面上に表示されるアイコンをリモートコントローラで選ぶだけでスムーズに完了。テレビ会議を開催するたびに煩雑な操作による設定を行う必要はありません。

セットアップ編

パッケージ内容を確認する

MEDIAPOINT HD をご使用になる前に、箱の中身を確認してください。

□1. メインシステム



□2. 専用カメラ



□3. 専用マイク



□4. リモートコントローラ



□5. 専用 AC アダプタ



□6. AC ケーブル



□7. VGA ケーブル



□8. DVI⇒HDMI 変換コネクタ



□9. 専用マイクケーブル



□10. HDMI ケーブル(2 本)



□11. 専用カメラケーブル



□12. LAN ケーブル



□13. 単四乾電池(2 本)



□14. 背面ラベル



□15. クイックガイド



各部の役割

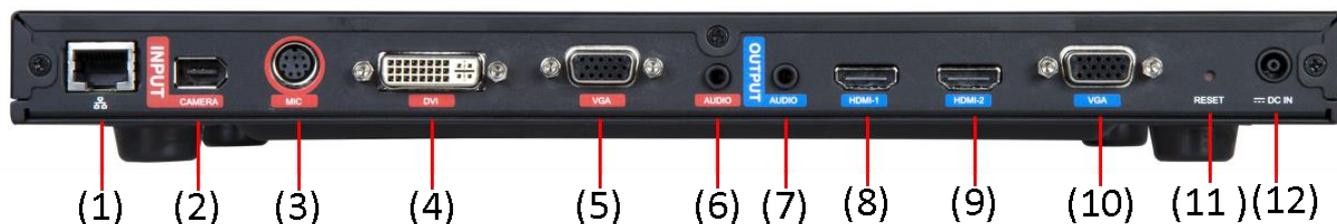
MEDIAPOINT HD は、メインシステム、専用マイク、専用カメラ、リモートコントローラで構成されます。メインシステム、専用マイク、専用カメラ、リモートコントローラの各部の役割を説明します。

メインシステム



メインシステム 前面

名称	機能
(1) LAN ステータスランプ	LAN 接続のステータスを示します。 消灯: LAN 接続されていません。 緑の点灯: 正常に LAN 接続されています。 緑の点滅: LAN 接続を通してデータが転送されています。
(2) 電源ボタン	このボタンを押してメインシステムの電源をオンまたはオフにします。 電源ボタンの LED で電源のステータスを示します。 赤: 電源オフ 青: 電源オン
(3) USB ポート	USB メモリを装着することにより、会議録画・再生、ファームウェアアップグレード、およびシステムログを保存できます。



メインシステム 背面

名称	機能
(1) LAN ポート	LAN ケーブルを用いて、ご利用になるネットワーク環境(例:ADSL、社内ネットワークなど)を接続します。
(2) カメラ入力ポート	専用カメラケーブルを用いて、専用カメラを接続します。
(3) マイク入力ポート	専用マイクケーブルを用いて、専用マイクを接続します。 専用マイクケーブルには赤色／青色のタグがあります。同じ色を接続してください。
(4) DVI(HDMI)入力ポート	DVI ケーブルまたは HDMI⇒DVI 変換コネクタを用いて、DVI または HDMI 出力機器(例:書画カメラ、ノート PC、デスクトップ PC)を接続します。
(5) VGA 入力ポート	VGA ケーブルを用いて、VGA 出力機器(例:書画カメラ、ノート PC、デスクトップ PC)を接続します。
(6) オーディオ入力ポート	オーディオケーブルを用いて、オーディオ出力機器(例:パソコン、オーディオプレーヤ)を接続します。
(7) オーディオ出力ポート	オーディオケーブルを用いて、外部スピーカ等のオーディオ出力機器を接続します。
(8) HDMI1 出力ポート	HDMI ケーブルを用いて、HDMI 端子を有する表示機器を接続し、メインモニタとして使用します。
(9) HDMI2 出力ポート	HDMI ケーブルを用いて、HDMI 端子を有する表示機器を接続し、セカンドモニタとして使用します。
(10)VGA 出力ポート	VGA ケーブルを用いて、VGA モニタ等の表示機器を接続し、セカンドモニタとして使用します。
(11)リセットボタン	システムを再起動します。
(12)電源ポート	専用 AC アダプタと AC ケーブルを用いて、コンセントに接続します。

マイク



専用マイク

名称	機能
(1) マイクオフ	専用マイクの送信をオンまたはオフします。 青: マイク送信 オン 赤: マイク送信 オフ
(2) マイク出力ポート	専用マイクケーブルを用いて、メインシステムと接続します。 専用マイクケーブルには赤色／青色のタグがあります。同じ色を接続してください。
(3) マイク入力ポート	専用マイクは最大 4 台までのカスケード接続ができます。 専用マイクケーブルには赤色／青色のタグがあります。同じ色を接続してください。

カメラ



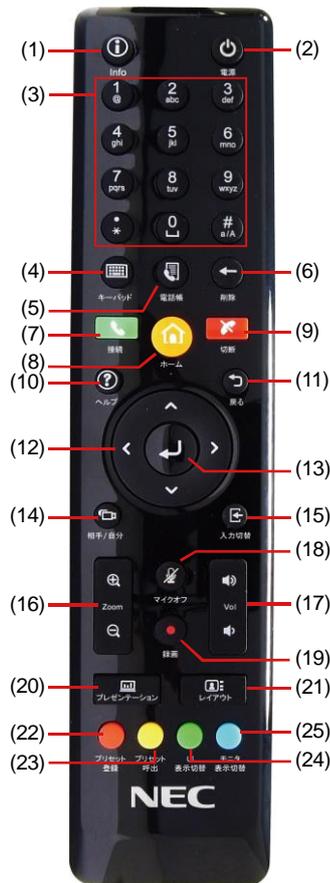
専用カメラ

名称	機能
(1) リモートコントローラ受光部	リモートコントローラを操作した際に送信される IR 信号を受信します。 IR 信号を受信すると専用カメラの LED (青色) が点滅します。
(2) カメラ出力ポート	専用カメラケーブルを用いて、メインシステムと接続します。

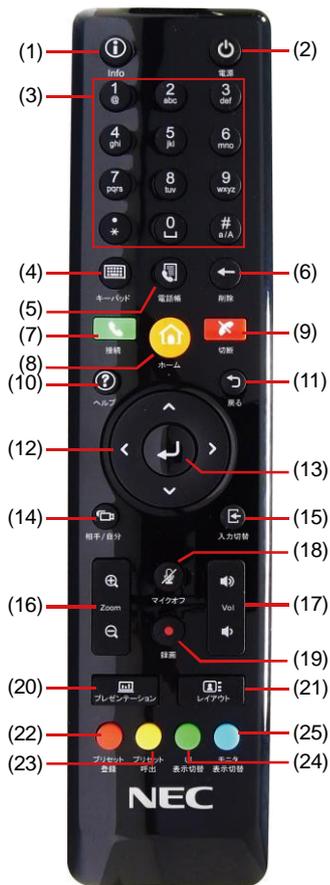
リモートコントローラ

MEDIAPOINT HD の操作はリモートコントローラで行います。

操作、設定を行うには、リモートコントローラを専用カメラのリモートコントローラ受光部に向けてください。
あらかじめ、添付の単四乾電池をリモートコントローラに入れてください。



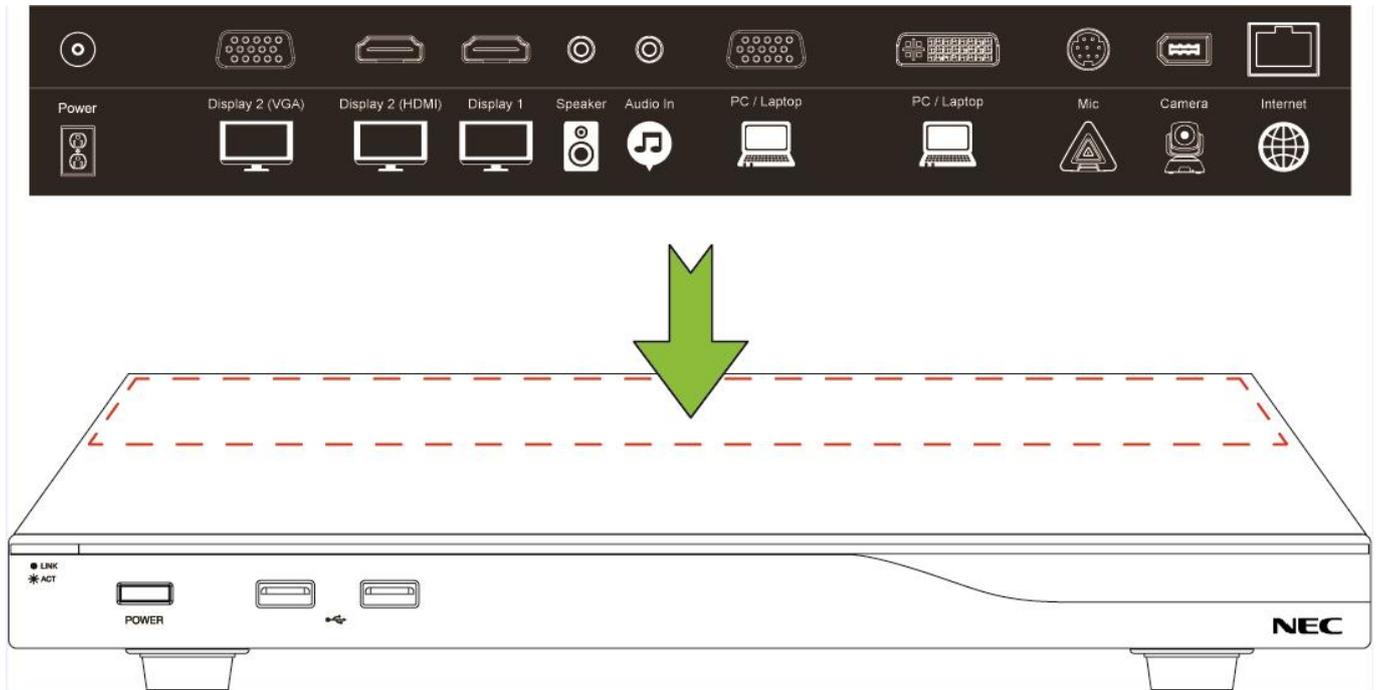
名称	機能
(1) Info	通信中の通信速度や映像、音声のモード、ネットワークの状態、システム情報を表示します。
(2) 電源	メインシステムの電源をオンまたはオフします。
(3) テンキー	数字、アルファベットを入力します。
(4) キーパッド	モニタ上にソフトウェアキーボードを表示します。
(5) 電話帳	電話帳メニューを表示します。
(6) 削除	カーソルの1つ前の文字を削除します。
(7) 接続	接続ダイアルメニューを表示します。
(8) ホーム	ホームメニュー(接続メニュー)を表示します。
(9) 切断	通信を終了します。
(10) ヘルプ	アイコンの説明等のガイダンスを表示します。
(11) 戻る	前のメニューに戻ります。
(12) ナビゲーションボタン ( ,  ,  , )	メニューの登録・設定の項目を選択するなどの操作に使用します。 また、専用カメラのパン(左右動作)およびチルト(上下動作)を行います。
(13) Enter 	<ul style="list-style-type: none"> 登録・設定において入力した項目を確定します。 ホームメニュー非表示時に押下すると、自動で専用カメラのフォーカスを合わせます。
(14) 相手／自分	カメラ操作を切り替えます。 相手: 通信中、相手側のカメラを操作します。 自分: 自分側の専用カメラを操作します。
(15) 入力切替	専用カメラ映像とVGA入力映像を切り替えます。
(16) Zoom +/-	専用カメラのズーム操作に使用します。 「+」を押すと被写体が大きくなります。 「-」を押すと被写体が小さくなります。
(17) Vol +/-	スピーカから聞こえる音量を調節します。
(18) マイクオフ	専用マイクの送信をオン、またはオフします。



名称	機能
(19) 録画	USB ポートに USB メモリを挿入時、ビデオ録画をします。
(20) プレゼンテーション	通信中、プレゼンテーションを開始、終了します。
(21) レイアウト	画面レイアウトを変更します。
(22) プリセット登録	専用カメラのパン・チルト・ズーム状態をプリセット登録します。0 から 99 までのプリセットに専用カメラの位置を設定できます。
(23) プリセット呼出	専用カメラを選択されたプリセットポジションに移動します。
(24) UI 表示切替	HDMI モニタと VGA モニタの間で操作画面(ユーザーインターフェイス)表示を切り替えます。
(25) 表示切替	デュアル画面モードまたはシングル画面モードを切り替えます。

背面ラベルの貼付

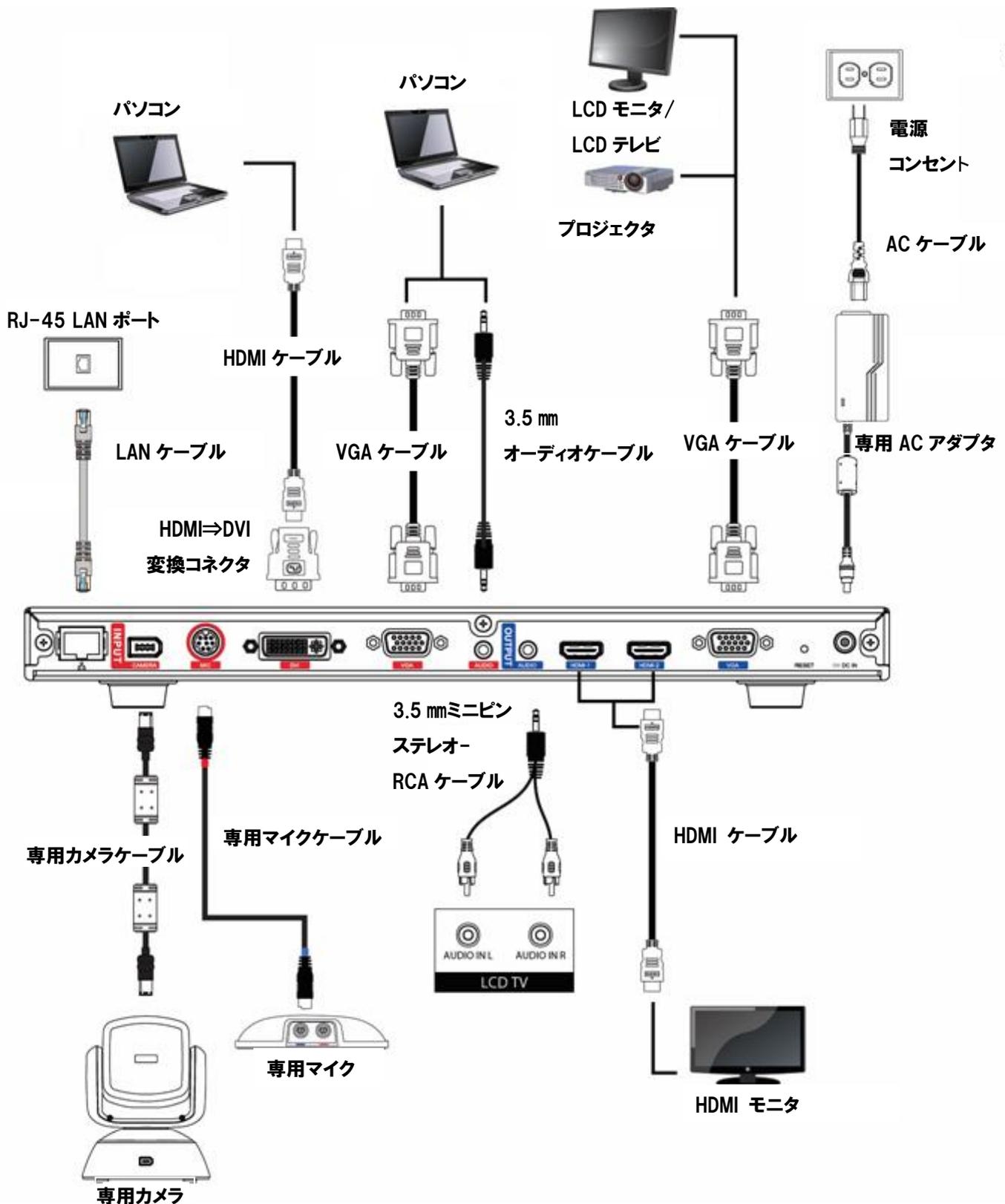
付属の背面ラベルをメインシステムに貼り付けることで、コネクタ位置、接続機器が分かりやすく便利です。



接続系統図

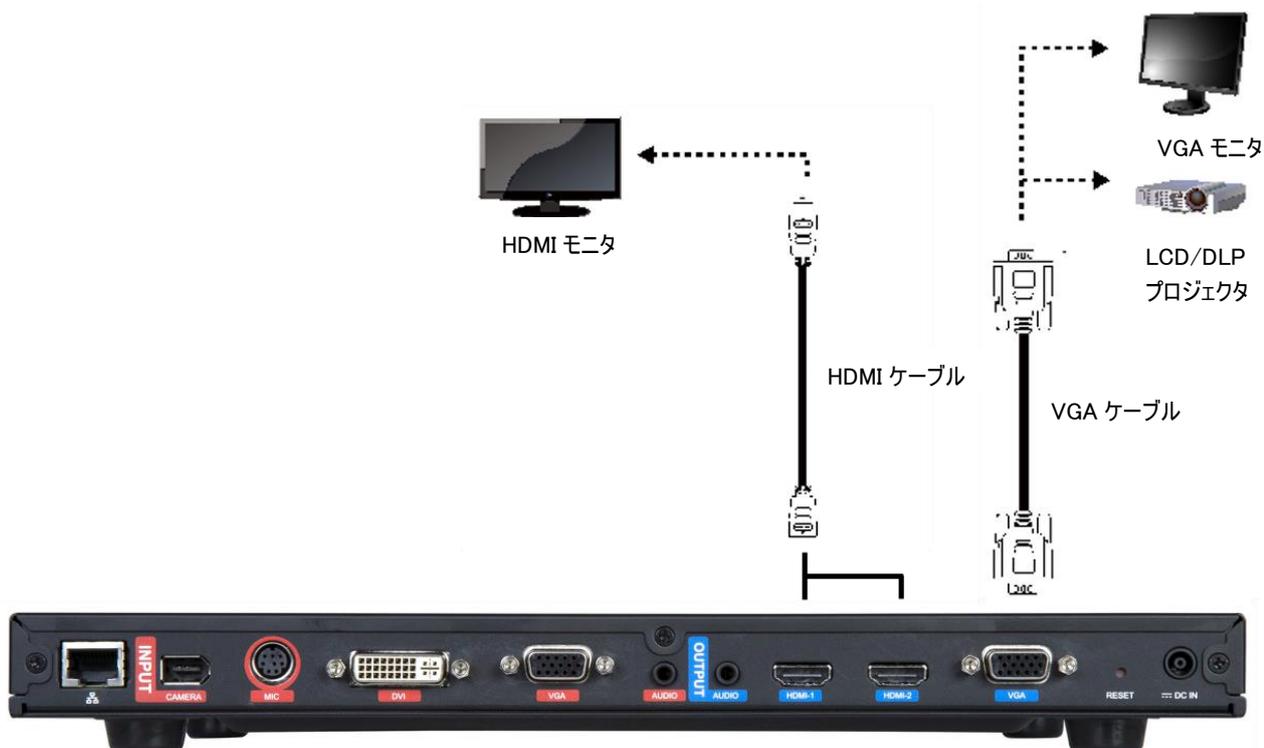
接続する前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、すべての接続機器の電源がオフになっていることを確認してください。

システムの電源を入れる前に、すべての接続が正常に行われたことを確認してください。



モニタの接続

メインモニタとして、HDMI ケーブルを用いて、HDMI1 出力ポートに HDMI モニタを接続します。
セカンドモニタとして、HDMI2 出力ポートに HDMI モニタを接続、または VGA 出力ポートに VGA モニタを接続します。
メインモニタとセカンドモニタに出力される映像は、シングルモード、デュアルモード、およびレイアウト設定により異なります。



カメラの接続

専用カメラケーブルを用いて、メインシステムと専用カメラを接続します。



マイクの接続

専用マイクケーブルを用いて、メインシステムと専用マイクを接続します。

専用マイクケーブルには赤色／青色のタグがあります。ケーブルのタグ色とメインシステムのマイク入力ポート色を合わせて、接続します。



専用マイクは最大 4 台までのカスケード接続ができます。

専用マイクケーブルには赤色／青色のタグがあります。同じ色を接続してください。

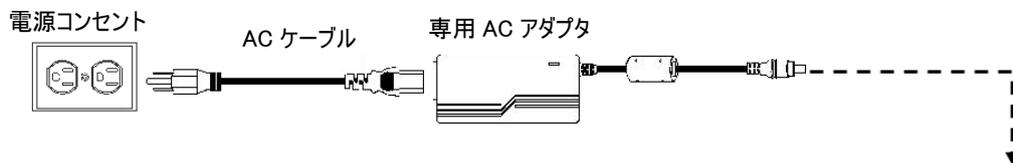
LAN ケーブルの接続

付属の LAN ケーブルを用いて、メインシステムとご利用になるネットワーク環境（例：ADSL、社内ネットワークなど）を接続します。

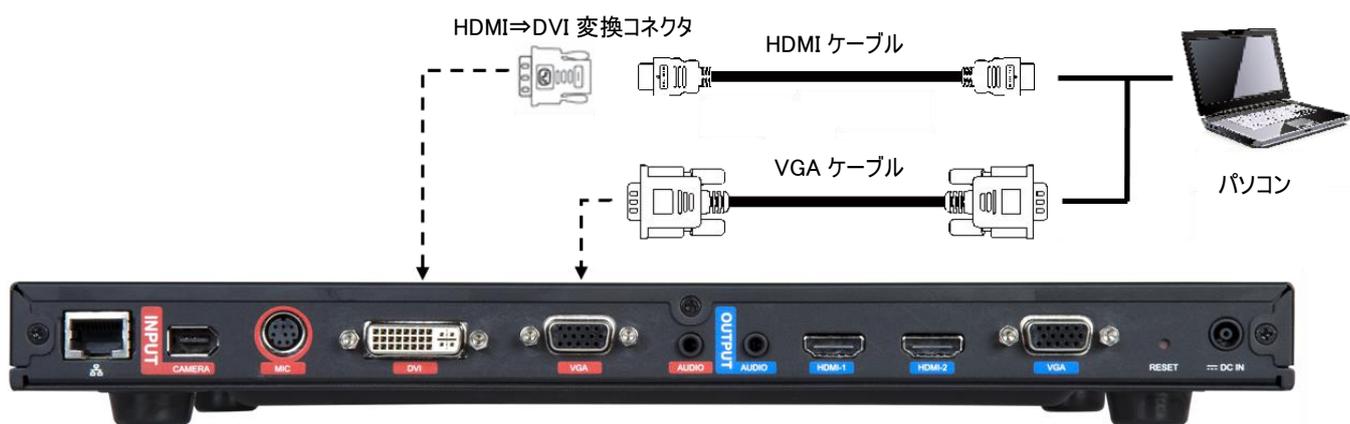


電源の接続

付属の専用 AC アダプタと AC ケーブルを用いて、メインシステムと AC100V 電源コンセントを接続します。
※必ず付属の専用 AC アダプタを使用してください。



PCの接続

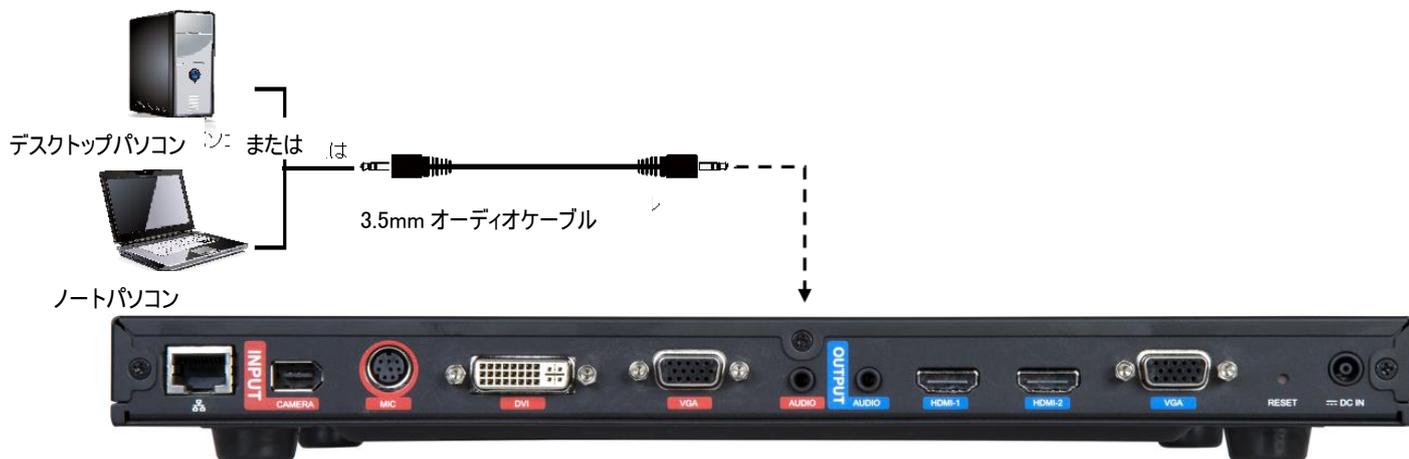


プレゼンテーション機能を利用してパソコン等の画像を表示する場合は、VGA ケーブルを用いてパソコンの VGA 出力ポートとメインシステムの VGA 入力ポートを接続します。
または、HDMI ケーブルと HDMI⇒DVI 変換コネクタを用いて、パソコンの HDMI 出力ポートとメインシステムの DVI(HDMI)入力ポートを接続します。

オーディオの接続

■オーディオ入力:

オーディオケーブルを用いて、ノート PC またはデスクトップ PC 等のオーディオ出力機器を接続します。オーディオケーブルには 3.5mm オーディオケーブルを使用してください。このケーブルは MEDIAPOINT HD には付属しておりませんので、ご利用になる場合は、ご自分で用意してください。



■オーディオ出力:

HDMI モニタや VGA 表示機器で音声出力機能が無い場合に、オーディオケーブルを用いて外部スピーカー等のオーディオ出力機器と接続します。

オーディオケーブルには 3.5mm オーディオケーブルを使用してください。このケーブルは MEDIAPOINT HD には付属しておりませんので、ご利用になる場合は、ご自分で用意してください。



USB メモリの接続

装置前面に 2 つの USB ポートを装備しています。



USB ポートに USB メモリを装着することで、

- ・会議録画(再生)
- ・ファームウェアアップグレード
- ・システムログの保存

をすることができます。

- ・認識できる USB メモリの容量は 2～64GB です。
- ・1 対 1 の通信で 1 時間会議を録画する場合の容量目安は以下のとおりです。

通信速度	ファイルサイズ
128kbps	115MB
256kbps	230MB
512kbps	460MB
1024kbps	921MB
2048kbps	1843MB
4096kbps	3686MB

専用の録画映像試聴用ソフトを用いることで、パソコン上で再生することができます。
弊社の製品サイトをご参照の上、専用ソフトをダウンロードしてください。
再生方法等については、ご利用の手引きをご参照ください。

設置について

会議室で適切に設置する方法を説明します。

■専用カメラの設置

見やすくきれいな画像を送るために、以下の点に注意して専用カメラの設置場所を決めてください。

- ・背景に濃淡があったり、後ろで人が歩き回ったりすると、画像が見にくくなります。背景色は明るめの単色で統一すると画像が見やすくなります。
- ・会議室が暗かったり、逆光だったりすると画像が見にくくなります。ライトを当てるなど、被写体に光が当たるようにすると、画像が見やすくなります。

Point !

リモートコントロール受光部は専用カメラの前面にあります。

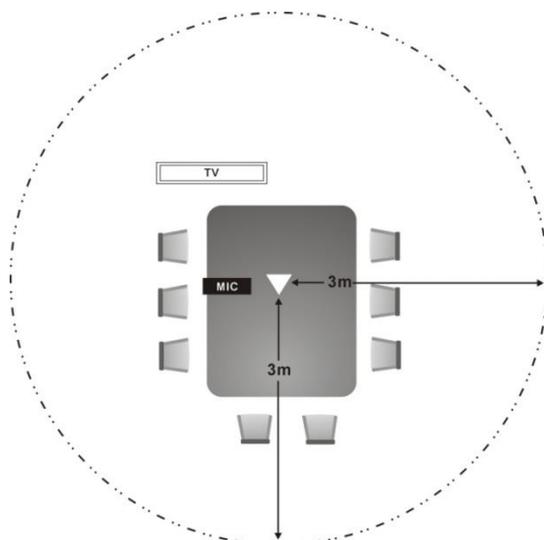
装置を操作するには、専用カメラのリモートコントロール受光部にリモートコントロールを向けて操作してください。



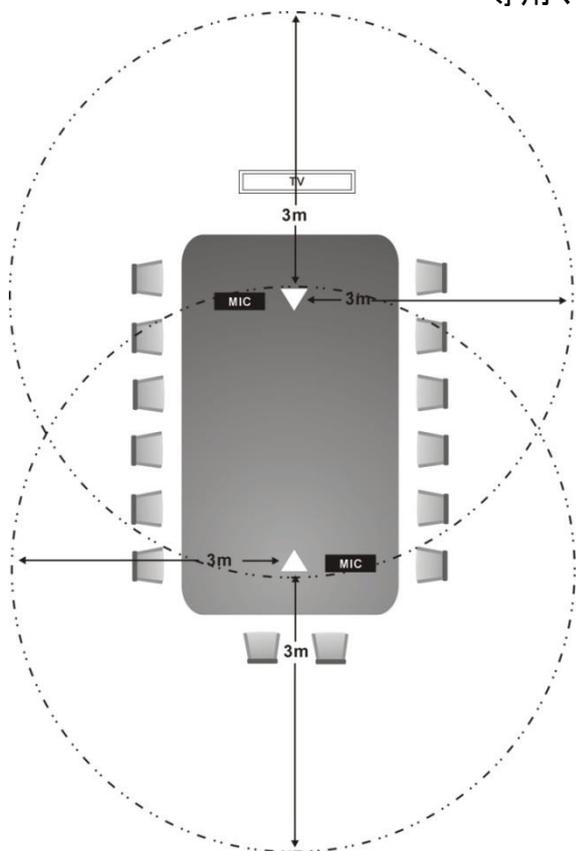
■専用マイクの配置

聞きやすい音声を送るために、以下の点に注意して専用マイクの設置場所を決めてください。

- ・会議机が振動するとノイズの原因となります。机の端を避け揺れにくい場所に設置してください。
- ・机や専用マイクを叩いたりしないようにしてください。
- ・専用マイクが音声信号を受信するための最適な距離は 3m 以内です。
- ・スピーカに近づけすぎるとハウリングが発生しますので、十分に離して設置してください。



専用マイクが 1 つの場合



専用マイクが 2 つの場合

セットアップウィザード

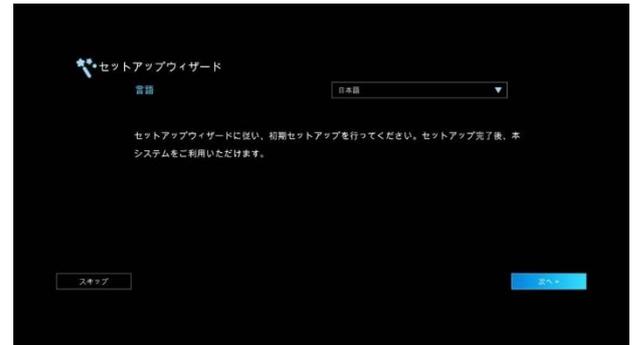
MEDIAPOINT HD を初めてご使用になる場合、セットアップウィザードに従って、各項目のセットアップを実施します。セットアップ完了後、会議システムのご利用が可能となります。

1. MEDIAPOINT HD と周辺機器の接続を完了し、電源をオンにしてください。起動後、セットアップウィザード画面を表示します。

2. 言語設定
使用する言語を選択してください。

⏪ ボタンを押し、ドロップダウンリストを開いてください。使用する言語を **▲** または **▼** ボタンで選択し、⏩ ボタンで決定してください。

選択後、**▶** ボタンを押しして **次へ** **⏪** ボタンを押ししてください。
押下後、自動的に、選択した言語に変わります。



3. 自室地点名
自室の地点名を入力してください。
初期設定において、MEDIAPOINT と入力されています。

Point !

リモートコントローラによる地点名入力は、半角英数字となります。Web ブラウザでは、漢字、ひらがな、カタカナでの地点名が入力できます。

初期値の自室地点名をリモートコントローラの **⏪** ボタンで削除後、**⌨** ボタンでソフトウェアキーボードを表示し、地点名を入力してください。
入力後、ソフトウェアキーボードの **OK** を選択し、**⏩** ボタンで決定してください。
▶ ボタンを押しして **次へ** **⏪** ボタンを押ししてください。



4. ネットワーク設定

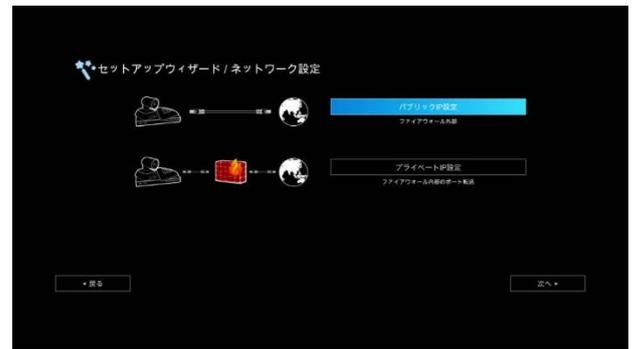
ネットワークの設定をします。

パブリック IP 設定 (ファイアウォールの外部) もしくは、プライベート IP 設定 (ファイアウォール内部のポート転送) のどちらかを選択し、 ボタンで決定してください。

Point !

- ・設定するネットワークに関する情報は、事前にシステム管理者に確認してください。初期設定において、IP アドレスは 192.168.0.1 です。
- ・LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。LAN を接続した状態でないと、ネットワーク設定を適用できません。
- ・PPPoE や NAT の設定を行うには、一度セットアップウィザードを完了する必要があります。

プライベート IP 設定の場合、ポート番号一覧表 (p.101) を参照の上、ルータのポートマッピングを行ってください。



① IP アドレス自動取得 (DHCP)

DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得するようにシステムを設定します。

LAN 上の DHCP サーバによって割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。

取得後、IP アドレスと関連情報を表示します。

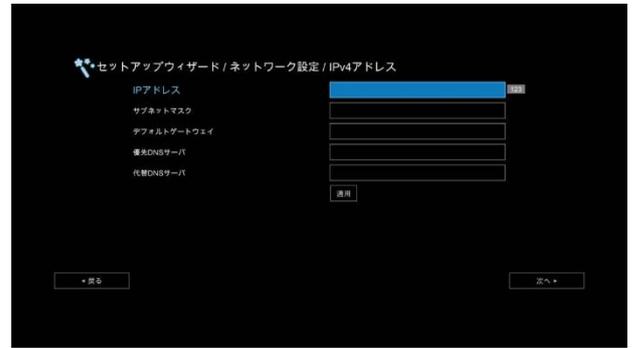
 を選択して設定を完了します。



②IPv4 アドレス

固定 IP: 割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。
初期設定の IP アドレス情報を  ボタンで削除後、リモートコントローラのテンキーを用いて IP アドレスを入力してください。

入力後 **適用** へ進み  ボタンで決定してください。
同様にサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバを入力します。



③IPv6 アドレス

a. 固定 IP

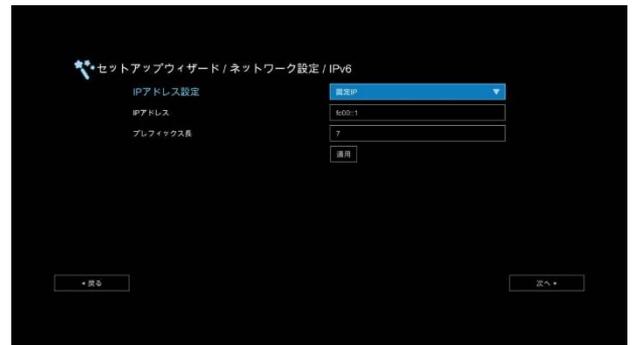
パブリック IP アドレスが利用可能な場合、IP アドレスとプレフィックス長を手動で入力します。

Point !

プレフィックス長は、ネットワーク部分とノード部分を区別するために必要なネットワーク部分の長さです。事前にシステム管理者にプレフィックス長の情報を確認してください。

b. 自動

動的 IP アドレスを自動的に取得します。



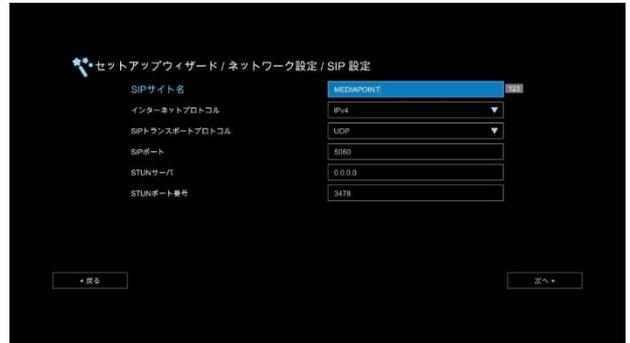
5. SIP 設定

SIP 設定をする場合、OK に進み、 ボタンを押してください。

※SIP 設定を行わない場合、 ボタンを押して **スキップ** に進み  ボタンを押してください。
SIP 設定をスキップします。

SIP 設定をする場合、初期設定の SIP 設定情報を  ボタンで削除後、SIP 設定情報を入力してください。

入力後 **次へ** へ進み  ボタンで決定してください。



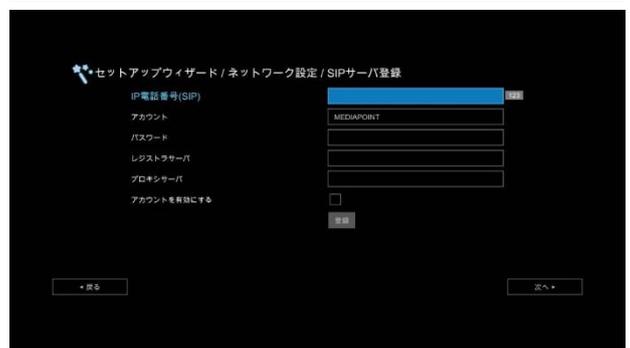
6. SIP サーバの設定

SIP サーバの設定をする場合、OK に進み、 ボタンを押してください。

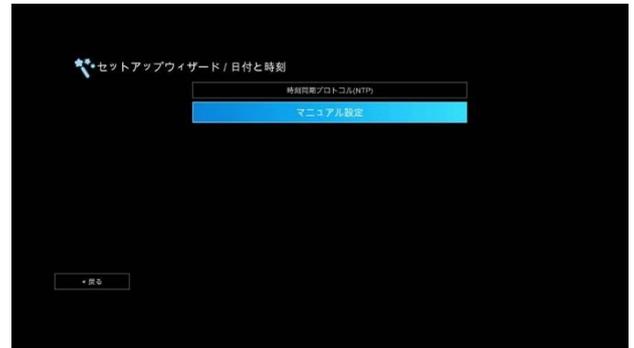
※SIP サーバ登録を行わない場合、 ボタンを押して **スキップ** に進み  ボタンを押してください。
SIP サーバ登録をスキップします。

SIP サーバの設定をする場合、初期設定の SIP サーバ設定情報を  ボタンで削除後、SIP サーバ設定情報を入力してください。

入力後 **次へ** へ進み  ボタンで決定してください。



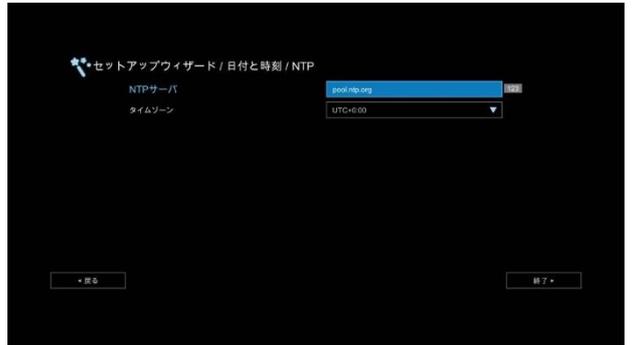
7. 日付と時刻の設定
日付と時刻を設定します。
時刻同期プロトコル(NTP)、マニュアル設定のどちらかを選択し、 ボタンで決定してください。



① 時刻同期プロトコル(NTP)の場合

NTP サーバに現在時刻を問合せ、時刻同期することができます。

NTP サーバのアドレス、タイムゾーンを入力後、 ボタンを押して **終了** へ進み  ボタンで決定してください。



Point !

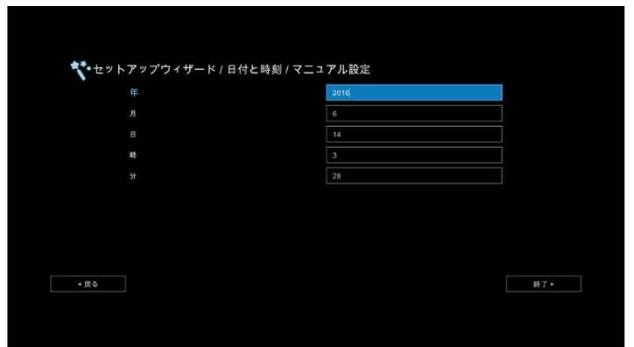
タイムゾーンは、協定世界時 (UTC) からのオフセットの整数時間(UTC-12~UTC+14)です。日本の場合、UTC+9 です。

時刻同期プロトコル(NTP)を使用する場合、事前にシステム管理者に NTP サーバの情報を確認してください。

② マニュアル設定の場合

現在の年、月、日、時、分を手動で入力します。

入力後、 ボタンを押して **終了** へ進み  ボタンを押してください。



8. 以上でセットアップは完了です。
 ボタンを押して **ホームメニューへ** へ進み  ボタンを押してください。

ホーム画面が表示され、利用できる状態となります。



基本操作編

操作方法

電源ボタンを押して MEDIAPOINT HD を起動します。
電源ボタンが青く点滅し始め、MEDIAPOINT HD ロゴが表示された後、起動音が鳴動します。
また、システム起動中に専用カメラが初期化動作を行います。
正常に起動が完了した場合、本体の電源ボタンが青く点灯します。

起動後、専用カメラの画像とホーム画面を表示します。
リモートコントローラを専用カメラに向け、MEDIAPOINT HD の操作、設定を開始します。

電源操作

電源を ON/OFF するには、本体またはリモートコントローラの電源ボタンを押してください。



基本操作

- ナビゲーション ボタン : ▲、▼、◀、▶ ボタンを使用して、メニュー上の選択項目を移動します。
確定ボタン : ⏏ を使用して、メニュー上の選択項目を確定します。
適用 : 変更した値を有効にします。
保存 : 入力した値を保存します。
キャンセル : 値の変更をキャンセルし、現在の画面を閉じます。

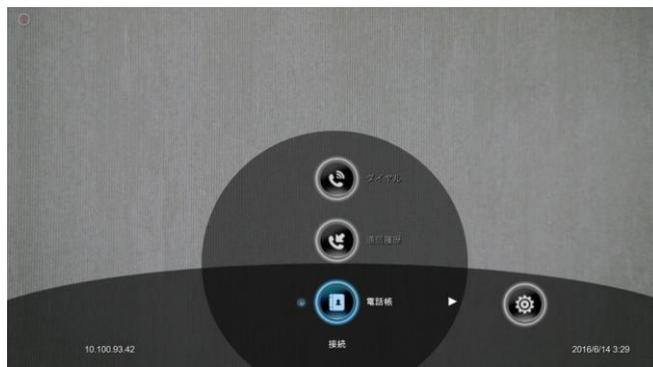
ホーム画面

ホーム画面には、接続メニュー、設定メニューを表示します。

ナビゲーションボタンを使用して選択項目間を移動し、 を押して確定します。

接続メニュー

- [ダイヤル]
- [通信履歴]
- [電話帳]



設定メニュー

- [環境設定]
- [ネットワーク]
- [ビデオ/オーディオ]



USB メニュー

USB メモリが装着された場合に USB アイコンを表示します。



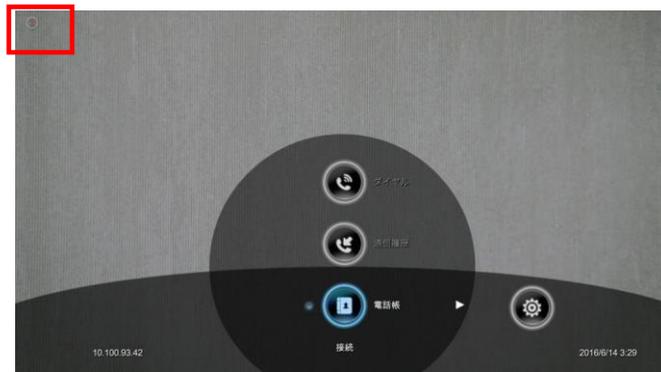
状態表示

ホーム画面の左上に、状態を表すアイコンがあります。

最上段に、

- ・自室の専用カメラ映像には自室の地点名
 - ・相手側のカメラ映像には相手側の地点名
- が表示されます。

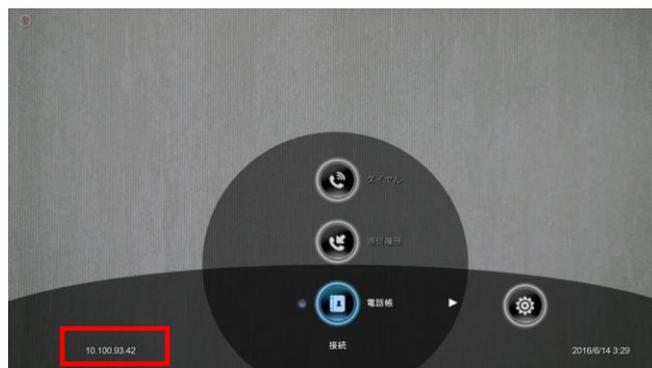
カメラケーブルが取外された場合、「カメラの接続が解除されました」という警告メッセージが表示され、画面が青くなります。



アイコン	内容
	このアイコンが自分の専用カメラ映像に表示されている場合は、自室の専用カメラ操作、相手側のカメラ映像にある場合は、相手のカメラ操作ができる状態を表しています。
	自室の専用マイクが接続されていない場合や、マイクオフになっている場合に表示します。
	プレゼンテーションを行っている場合に表示します。
	録画を行っている場合に表示します。
	通信中に画像データや音声データが紛失(パケットロス)している場合に表示します。
	LAN ケーブルが接続されていない場合に表示します。

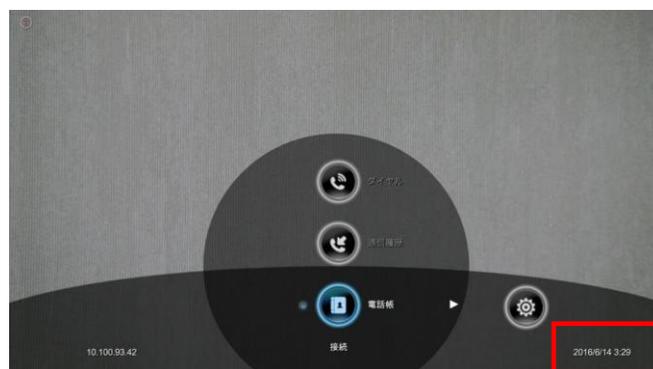
自室 IP アドレス表示

画面の左下に、現在の設定されている自室の IP アドレスを表示します



日付と時刻表示

画面の右下に、現在の日時を表示します。



テレビ会議を開始する

直接ダイヤル

ダイヤル画面より、相手先の IP アドレスを直接入力して相手先を呼び出します。
リモートコントローラの  ボタンを押しても同様の動作になります。

Point !

ダイヤル操作する前に、LAN ケーブルが正常に接続されていることを確認してください。



①IP アドレス

リモートコントローラ上の数字キーを使用して、相手先の IP アドレスを入力します。
ゲートキーパ、または SIP サーバを使用する場合は、相手先の IP 電話番号を入力してください。



②通信タイプ

MEDIAPOINT HD は H.323 および SIP(SIP 音声通話を含む)の 2 つの通信タイプをサポートしています。SIP 機能が有効になっている場合は、ドロップダウンリストから通信タイプを選択します。

Point !

SIP による通信を行う場合は、SIP 設定をクライアントモードまたはサーバモードに変更してください。(p.75 参照)
一般的に H.323 はテレビ会議の通信タイプとして使用されています。また、SIP は一般的に VoIP 通信として使用されています。



③通信速度

ご利用のネットワーク状況に合わせ、通信速度を設定します。

通信速度は、ドロップダウンリストに表示されるデフォルト、64kbps～4096kbps から選択します。

Point !

デフォルト通信速度は、環境設定において設定を変更することができます。
初期設定は、2048kbps です。



④通信開始

入力後、相手先の IP アドレスまたは IP 電話番号を確認し、**通信** を選択して、 ボタンを押します。



相手先にダイヤルします。

ダイヤル中に **キャンセル** を押すと、ダイヤルを取り消します。



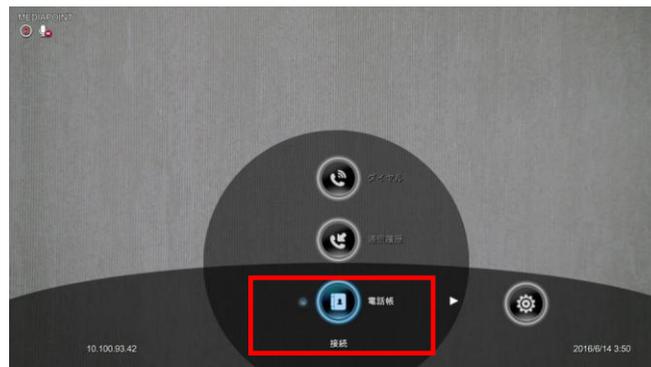
電話帳

電話帳メニューでは、連絡先情報の作成、および編集、カテゴリー別での連絡先のグループ化、連絡先の検索を行うことができます。

[電話帳]を選択して  ボタンを押します。連絡先リストを表示します。連絡先リストには、登録されている連絡先のグループ名・地点名を表示します。

電話帳から発信する場合、[連絡先リスト]にフォーカスを合わせ、 ボタンを押します。その後  および  ボタンを使用して通信先を選択し、 を押します。

または、通信先を選択し、 ボタンを押して表示されるドロップダウンリストから、通信先を選択し、 ボタンを押します。相手先にダイヤルします。



通信履歴

通信履歴では、過去の着信/発信とそのステータスを確認できます。通信履歴リストで項目を選択して発信することもできます。



[通信履歴]を選択して ボタンを押します。通信履歴画面には、過去に通信した相手先の履歴とそのステータスを表示します。

地点名 : IP アドレスまたは相手先名
 日付/時刻 : 通信した日時
 通信ステータス: 下表

通信ステータス	通信	不在
着信		
発信		



通信履歴から発信する場合、[通信履歴]にフォーカスを合わせ、 ボタンを押します。その後、 および ボタンを使用して、通信先を選択し、 ボタンを押します。表示されるドロップダウンリストから、通信を選択し、 ボタンを押します。相手先にダイヤルします。



着信操作を行う

相手先より、着信があった場合、着信画面を表示します。

着信画面には、相手先の名称(地点名、もしくはIPアドレス)と通信速度を表示します。

自動応答設定において、自動応答をオフに設定している場合、着信時、着信画面を表示します。

着信する場合、**応答** を選択し、 ボタンを押します。リモートコントローラの  ボタンを押しても同様の動作になります。

着信をキャンセルする場合、**拒否** を選択し、 ボタンを押します。リモートコントローラの  ボタンを押しても同様の動作となります。

自動応答を「オン」に設定している場合、着信があると着信画面が表示され、その後、自動的に通信を開始します。



テレビ会議を終了する

会議が終了した場合、通信を終了します。

リモートコントローラの  ボタンを押して、[回線切断]画面を表示します。

①2 地点会議

リモートコントローラの  ボタンを押すと通信を終了します。

②多地点会議

リモートコントローラの  ボタンを押して、切断確認画面を表示します。

リモートコントローラを用いて切断する地点を選択し  ボタンを押すと選択した地点との通信を終了します。

すべての地点と切断する場合、[すべて接続解除]を選択し  ボタンを押します。



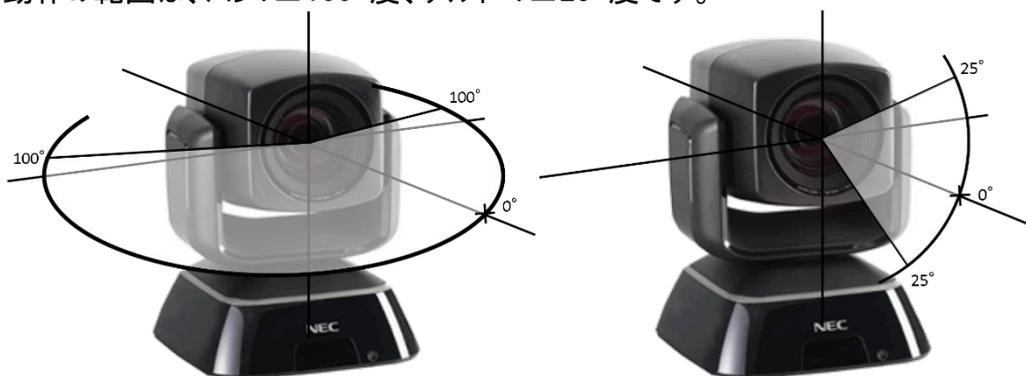
専用カメラを操作する

リモートコントローラの **▲**、**▼**、**◀**、**▶** ボタンおよび、ズームボタンを使用して専用カメラを操作できます。

パン(左右動作)／チルト(上下動作)を行う

- ▲**、**▼** ボタンを押すとチルト(上下動作)を行います。
- ◀**、**▶** ボタンを押すとパン(左右動作)を行います。

パン・チルト動作の範囲は、パン:±100 度、チルト :±25 度です。



通信中にリモートコントローラの **相手／自分** ボタンを押すと、相手側のカメラを操作できます。再度、**相手／自分** ボタンを押すと、自分の専用カメラを操作できます。

重要

システムの電源が入っている状態でカメラを手動で回転させないでください。モーターやギアが壊れる恐れがあります。

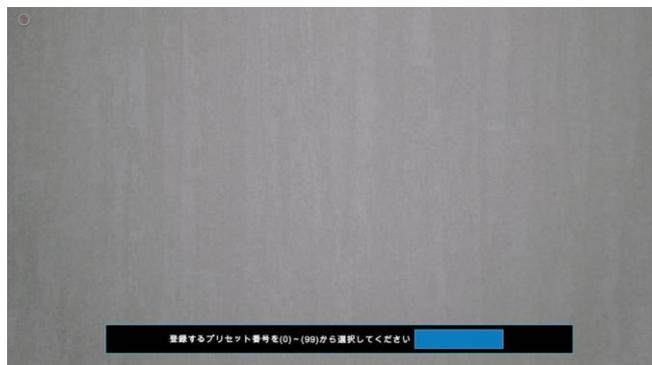
プリセット登録を行う

プリセット登録は、最大 100 ポジション登録することができます。
プリセット登録する場合、以下の手順で登録します。

- ① 登録したい位置に専用カメラの向きを操作します。
- ② リモートコントローラの **プリセット登録** ボタンを押します。
- ③ **0**～**9** ボタンを押して登録したい番号を入力します。
- ④ 登録が完了すると、「プリセットを登録しました #<登録した番号>。」と表示します。

Point !

- ・登録済みのプリセット番号に再度登録を行うと、ポジションが上書きされます。
- ・登録したプリセット内容を削除することはできません。

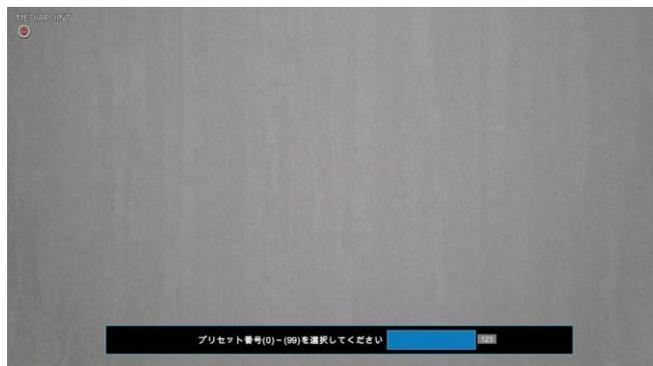


プリセット操作を行う

プリセット登録している位置に専用カメラの向きを移動します。

プリセット呼出 ボタン+登録している番号 0 ~ 9 ボタンを押すと、登録してある方向に専用カメラの向きが移動します。

- ① プリセット呼出 ボタンを押します。



- ② プリセット番号を入力し、 ボタンを押下します。プリセットが登録されている場合、「プリセットモード#<登録した番号>」と表示され、専用カメラが登録した向きに移動します。



- ③ 登録していない番号を入力した場合、「プリセット未登録#<押した番号>」と表示されます。



専用マイクを操作する

マイクオフ/マイクオン

リモートコントローラの **マイクオフ** ボタンを使用して、専用マイクを操作できます。
相手側に自分の声を聞かれない時に、一時的に専用マイクをオフします。

マイクオフの操作は、専用マイクの上部のボタンでも操作できます。

マイク状態	専用マイク上部のランプ
マイクオフ	赤色
マイクオン	青色

音量を調整する

スピーカから聞こえる音量を調整します。

- ・ **Vol +** ボタンを押すと音量が大きくなります。
- ・ **Vol -** ボタンを押すと音量が小さくなります。

プレゼンテーションを行う

VGA 入力ポートまたは DVI(HDMI)入力ポートに接続するパソコン等の画像を相手側に送信し、資料画像を見ながら、会議を行うプレゼンテーション機能を標準装備しています。

プレゼンテーション機能を使用する場合、VGA 入力ポートまたは DVI(HDMI)入力ポートにパソコン等からの映像出力を接続する必要があります。接続は会議開催前でも会議中でも行えます。

プレゼンテーションを開始するには、リモートコントローラの **プレゼンテーション** ボタンを押してください。

[DVI/HDMI]または[VGA]のどちらかを選択し、**↓** ボタンを押してください。

終了するには、再度 **プレゼンテーション** ボタンを押し、[接続を解除する]を選択し、**⏪** ボタンを押してください。

Point !

通信タイプが SIP の会議でプレゼンテーションを行う場合、あらかじめ

[設定]⇒[ネットワーク]⇒[SIP]
より、[BFCP]を UDP、または TCP に設定します。



操作メニュー(UI:ユーザインタフェース)を切替える

メインモニタ(HDMI 出力ポート)とセカンドモニタ(HDMI2 出力ポートまたはVGA 出力ポート)に接続する2つのモニタへの映像を出力できます。

通常、操作メニューは、メインモニタ側に表示されます。

この操作メニューはリモートコントローラの **UI 表示切替** ボタンを使用して、セカンドモニタへ切替えることができます。

切替後、再度、リモートコントローラの **UI 表示切替** ボタンを押すと、メインモニタに表示が戻ります。

重要

接続しているモニタが一台の場合でも、**UI 表示切替** ボタンを押すと表示が切替わり、メインモニタに操作メニューが表示されなくなります。その場合は、再度 **UI 表示切替** ボタンを押して操作メニューを表示してください。

レイアウトを変更する

メインモニタとセカンドモニタの2つのモニタへの出力ができます。

モニタ出力モードは、「シングルモード」と「デュアルモード」があり、リモートコントローラの **モニタ表示切替** ボタンで操作できます。

シングルモード :メインモニタとセカンドモニタの2つのモニタに同じ映像を表示

デュアルモード :メインモニタに会議映像を表示し、セカンドモニタに自地点専用カメラ映像またはプレゼンテーション映像を固定で表示

また、モニタに表示するレイアウトを変更することができます。

表示するレイアウトは、リモートコントローラの **レイアウト** ボタンで操作できます。

レイアウト ボタンを押すごとに切り替わります。

システム情報を表示する

システムの情報を表示することができます。

リモートコントローラの **Info** ボタンを押すことで、システム情報を表示します。

システム情報の画面を消去する場合にはリモートコントローラの **戻る** ボタンを押してください。



システム情報画面で表示される項目の一覧を以下に示します。

表示項目	内容
自室地点名	[環境設定]の[システム設定]で設定した自室の地点名
モデル	お使いの MEDIAPONT HD システムのモデル
最大地点数	多地点接続時の同時接続地点数
IPv4	[ネットワーク]の[IPv4 設定]で設定した IP アドレス
IPv6	[ネットワーク]の[IPv6]で設定した IP アドレス
SIP	[ネットワーク]の[SIP 設定]で設定した IP 電話番号
IP 電話番号(H.323)	[ネットワーク]の[H.323 ゲートキーパ]で設定した IP 電話番号
MAC アドレス	MEDIAPONT HD システムの MAC アドレス
システムバージョン	MEDIAPONT HD システムのファームウェアバージョン

通信ステータスを表示する

通信中の通信速度や映像、音声のモード、ネットワークの状態を表示することができます。
通信中にリモートコントローラの **Info** ボタンを押すことで、通信ステータス画面を表示します。

通信ステータス画面を消去する場合にはリモートコントローラの **戻る** ボタンを押してください。

① カメラ映像の通信ステータス

	送信	受信
通信速度	4096 kbps	4096 kbps
ビデオコーデック	H.264	H.264
オーディオコーデック	G.722.1c	G.722.1c
ビデオ解像度	1080p	848 × 480
パケットロス	0 (0.0 %)	0 (0.0 %)
ジッター	1 ms	1 ms
ビデオオーディオレート	4048 kbps / 48 kbps	4048 kbps / 48 kbps
ビデオの使用レート	3776 kbps	3872 kbps
ビデオフレームレート	30.0 fps	30.0 fps
相手側地点名	MEDIAPPOINT	
相手側システム	NEC MEDIAPPOINT HD / 20.01.08.99	
通信タイプ	H.323	

② プレゼンテーションの通信ステータス

	送信	受信
ビデオコーデック	H.264	-
ビデオ解像度	720p	-
パケットロス	0	0
ビデオレート	1752 kbps	0 kbps
ビデオフレームレート	28.0 fps	- fps

表示項目	内容
通信速度	通信開始時に設定した通信速度を表示します。
ビデオコーデック	送信/受信に使用しているビデオコーデックを表示します。
オーディオコーデック	送信/受信に使用しているオーディオコーデックを表示します。
ビデオ解像度	送信/受信している映像の解像度を表示します。
パケットロス	通信中に画像データや音声データが紛失(パケットロス)した数量を表示します。
ジッター	通信中の画像データや音声データの到達時間の揺らぎ(ジッター)を表示します。
ビデオ/オーディオレート	設定された通信速度の映像と音声の通信速度を表示しています。
ビデオの使用レート	実際に使用されている映像の通信速度を表示します。
ビデオフレームレート	映像のフレームレートを表示します。 ※1秒に何枚の画像を表示しているかを示しています。
相手側地点名	相手側の地点名を表示します。
相手側システム	相手側が使用しているシステムの装置名称、バージョンを表示します。
通信タイプ	現在の通信タイプを表示します。

電話帳を編集する

電話帳メニューでは、連絡先情報の作成および編集、カテゴリー別での連絡先のグループ化、連絡先の検索を行うことができます。

電話帳メニューの連絡先リストには、登録されている連絡先を表示します。

Point !

連絡先リスト画面では、リモートコントローラの黄色 ● ボタンを使用して、対象の連絡先を検索できます。

1 ページを超える連絡先が登録されている場合には、緑 ● ボタンまたは青 ● ボタンを用いて、ページのスクロールができます。



新規にグループを作成する

連絡先がたくさん登録されている場合は、クライアント、会社、支社などのグループに分類して登録しておく、検索しやすくなります。

電話帳メニュー画面にて、[グループ] を選択して ● ボタンを押します。

新しいグループを作成するには、● ボタンを押して、グループ名の入力ボックスを表示します。

Point !

「その他」というグループが初期登録されています。



新しく登録するグループ名を入力します。入力後、[保存する] を選択して、新しいグループを保存します。

登録を中止する場合は、[キャンセル] を選択し、グループ名の入力ボックスを閉じます。



保存後、登録したグループ名が、グループリストに表示されます。



グループを編集／削除する

グループリストに表示されるグループ名から、編集、または削除したいグループ名を選択します。選択すると、ドロップダウンリストにて[編集]、[グループを削除します]、[グループコール]を表示します。

目的に合わせて、選択します。

編集を選択した場合、グループ名の変更およびグループに属する連絡先を指定して、[保存する]を選択し、変更したグループを保存します。

Point !

変更したグループ名が登録されているグループ名と同じである場合は、変更したグループ名は保存されません。

[グループを削除します]を選択した場合、グループ削除の確認画面を表示します。

[はい] を選択した場合、グループのリストから削除します。

[いいえ]を選択した場合、グループを削除せず前の画面に戻ります。



新規に連絡先を登録する

電話帳メニュー画面にて、[新規登録] を選択して  を押します。
 連絡先に登録するには、

- ・グループ名の情報
- ・連絡先の地点名
- ・使用する通話タイプ情報
- ・通信速度

の情報が必要となります。



- ①グループ名を選択します。
- ②地点名を入力します。
- ③H.323 に相手先の IP アドレス、もしくはIP電話番号を入力します。
 IP 電話番号は、H.323 ゲートキーパを使用する場合に登録する番号です。
 事前にシステム管理者に確認の上、入力してください。
- ④通信速度を選択します。
 通信速度は、ドロップダウンリストに表示される 64kbps～4096kbps の通信速度から選択します。
- ⑤[保存する]を選択して、連絡先を登録します。

Point !

連絡先の最大登録件数は 300 件です。

注意!

入力欄によって登録できない文字があります。
 以下の表に記載している半角記号は登録できません。

項目	使用禁止文字													
自室地点名 H.323 名 SIP サイト名	=	¥	;	'	,	/	@	\$	&	+	:	"	?	
電話帳メニューの 新規登録時の地点名	[]	'	%	&	*	_	{	}	"	<	>	?	

連絡先を編集／削除する

連絡先リストに表示される連絡先から、編集または削除したい連絡先を選択します。
選択すると、ドロップダウンリストにて[編集]と[削除]の選択が表示されます。
目的に合わせて、選択します。

編集の場合、登録されているグループ、地点名、H.323、SIP および通信速度の画面が表示されます。
登録情報を変更し、保存します。

[削除]を選択した場合、削除するか否かの選択画面が表示されます。

[はい] を選択した場合、連絡先は削除され、連絡先リストに表示されなくなります。
[いいえ]を選択した場合、連絡先を削除せず、前の画面に戻ります。



お気に入りに保存する

MEDIAPOINT HD では、お気に入りリストに最大で 10 件の連絡先を保存することができます。

[電話帳]メニュー画面にて、[お気に入り] を選択して  を押します。

お気に入りの連絡先として保存する番号(0~9) を選択します。



表示される連絡先リストから、お気に入りに登録する地点名を選択します。

選択後、リモートコントローラの赤  ボタンを押して保存します。



保存した連絡先がお気に入りリストに追加されます。



お気に入り発信をする

発信したいお気に入りの登録番号と同じ数字のリモートコントローラの  ~  ボタンを 2 秒以上長押しすると、相手先にダイヤルします。



グループコール

グループに登録している連絡先に順次接続することができます。

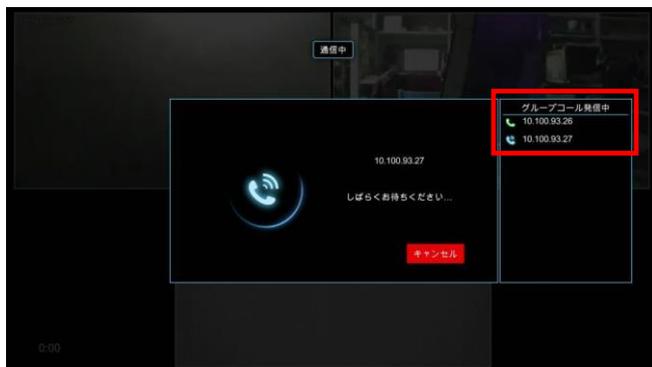
接続したい連絡先が登録されているグループ名を選択します。
ドロップダウンリストから[グループコール]を選択します。



登録した連絡先に順次発信します。
画面右に接続する連絡先のリストが表示されます。



接続が完了した場合、地点名の左横に  アイコンが表示されます。



通信履歴から連絡先に保存する

通話の着信/発信情報を連絡先リストに保存することができます。

接続メニューにて、[通信履歴] を選択して
🏠 ボタンを押します。

通信履歴に表示される相手先の地点名を
選択します。
選択すると、ドロップダウンリストにて[通信]と
[保存する]が表示されます。

[保存する]を選択します。

連絡先の編集画面を表示します。

連絡先の、

- ・グループ名の情報
- ・地点名
- ・使用する通話タイプ情報
- ・通信速度

の情報を入力し、**保存する** を選択しま
す。



装置設定編

各種設定を行う

設定メニューより、環境設定、ネットワーク、ビデオ／オーディオを選択し、各種設定を行います。

環境設定

環境設定では、システム情報の表示、設定が行えます。

環境設定画面を表示するには、ホームメニューの設定メニューから、環境設定を選択し、 ボタンを押します。



環境設定では、以下の設定を行います。

設定項目	内容
通信設定	自動応答、デフォルト通信速度、AES、QoS、通信時間の表示、最大送信/受信帯域幅の設定ができます。
システム設定	地点名、言語、自動電源オフモード、キー操作音の設定ができます。
管理者	管理者パスワード、Wake On LAN の設定ができます。
モニタ	モニタの情報の表示、VGA モニタ解像度、スクリーンセーバー、アンダースキャンを設定できます。
日付と時刻	現在日時、時刻の表示形式、NTP サーバの設定ができます。
初期化	システム、電話帳および通信履歴の初期化を行えます。
初期レイアウト	通信時を始めた際の画面レイアウトの設定ができます。

通信設定

通信設定では、
 自動応答
 デフォルト通信速度
 AES・QoSの有効/無効
 通信時間の表示
 最大送信/受信帯域幅
 音声検知レイアウト切替
 の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
自動応答	<p>相手先から着信があった場合の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オン 自動的に通信を開始します ・オフ 手動操作により通信を開始するか、拒否するかを選択します ・最初の着信のみ 最初の着信のみ自動で通信を開始します。さらに他の地点から着信があった場合、手動操作により通信を開始するか、拒否するかを選択します ・通信開始時、マイクオフで着信する 着信があった場合、自地点の専用マイクをマイクオフの状態にして自動で通信を開始します ・着信拒否 自動で着信を拒否します <p>デフォルト設定は、「オフ」です。</p>	<p>「オフ」「オン」 「最初の着信のみ」 「通信開始時、マイクオフで着信する」 「着信拒否」 から選択します。</p>
デフォルト通信速度	<p>ダイヤルする場合のデフォルトの通信速度を設定します。 デフォルト設定は、「2048kbps」です。</p>	<p>64kbps～4096kbps から選択します。 システム管理者に可能な通信帯域を確認の上、設定してください。</p>
AES を有効にする	<p>テレビ会議の通信データパケットを AES による暗号化し、セキュアな通信を提供します。 相手先にも同様の機能が必要です。相手先が未サポートの場合、暗号化されていない通信となります。 デフォルト設定は、「無効」です。</p>	<p>システム管理者に確認の上、設定してください。</p>
QoS を有効にする	<p>テレビ会議の映像、音声、プレゼンテーションのデータパケットの優先制御を提供します。 デフォルトは、「無効」です。 有効にした場合、データパケットの ToS フィールドに以下の値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像パケットの場合「10001000」 ・音声パケットの場合「10111000」 	<p>ネットワーク上のルータ等にもあわせて設定が必要となります。システム管理者に確認の上、設定してください。</p>

設定項目	内容	備考
通信時間を表示する	通信時間の表示を有効または無効にします。 デフォルト設定は、「有効」です。	
最大送信帯域幅	送信および受信の通話の最大帯域幅を指定できます。 デフォルト設定は、「12M」です。	1M～36M から選択します。 システム管理者に使用可能な通信帯域を確認の上、設定してください。
最大受信帯域幅		
音声検知レイアウト切替を有効にする	多地点会議時に、発話している地点を検知し、その地点のカメラ映像を大きく表示するように画面レイアウトを切り替えます。 デフォルト設定は「有効」です。	

システム設定

システム設定では、
 使用する言語
 自動電源オフモード
 キー操作音の有効/無効
 の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
自室地点名	地点名は、この MEDIAPPOINT HD システムの名前として表示されます。 ご希望の地点名を入力してください。 デフォルト設定は、「MEDIAPPOINT」です。	使用禁止文字については p.55 を参照してください。
言語	日本語、英語、その他 20 言語を選択できます。 デフォルト設定は、「日本語」です。	
自動電源オフモード	何も操作せずに放置した場合、設定された時間が経過すると、自動的にオフします。 システムをオンにするには、電源ボタンを再度押す必要があります。 デフォルト設定は、「2 時間」です。	「オフ」「30 分」 「1 時間」「2 時間」 「3 時間」「4 時間」から 選択します。
キー操作音を有効にする	キー操作音の有効/無効を設定します。 デフォルト設定は、「有効」です。	

管理者

管理者では、
 ブラウザアクセス
 管理者パスワード
 システムログの保存
 カメラ制御の有効/無効
 Wake on LAN の有効/無効
 の設定を行うことができます。



以下の設定・操作を行います。

設定項目	内容	備考
ブラウザアクセスを有効にする	Web ブラウザからのアクセスを設定します。	
管理者パスワード	管理者パスワードの使用を設定できます。設定した場合、設定メニューを選択した際に、パスワード入力が必要です。 デフォルト設定は、「1234」です	初期設定時に必ずパスワード変更を行ってください。また、登録したパスワードをお忘れにならないようにしてください。
管理者パスワードの変更	管理者パスワードを変更することができます。	パスワードは半角英数文字で 63 文字まで設定可能です。
システムログ情報を USB メモリに保存する	システムにおいて問題が発生した場合、システムの動作ログを USB メモリに保存することができます。 弊社ホームページの「お問い合わせ」より、問題の状況等と合わせて、保存したデータを送付してください。	
相手カメラ制御を有効にする	通信時の相手カメラのリモート操作の有効/無効を設定できます。 デフォルト設定は、「有効」です。	
Wake-on-LAN(WoL)	WoL は、遠隔制御により、システムを起動する機能です。WoL 制御可能なサーバ等のシステムが必要となります。 デフォルト設定は、「無効」です。	システム管理者に確認の上、設定してください。

モニタ

メインシステムに接続するモニタについて、
 モニタ情報
 VGA モニタ解像度
 スクリーンセーバー
 アンダースキャン
 HDMI1 互換オフセットフレーム
 の設定を行うことができます。



以下の表示・設定を行います。

設定項目	内容	備考
モニタ#1 モニタ#2	接続しているモニタの情報を表示します。 モニタ#1 には HDMI 出力ポートに接続したモニタ、 モニタ#2 には VGA 出力ポートに接続したモニタの情 報を表示します。	
VGA モニタ解像度	VGA 出力ポートに出力される映像の縦横比を設定し ます。 デフォルト設定は、「自動」です。	「自動」・「4:3」・「16:9」 から選択します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーが起動する時間を設定します。 デフォルト設定は、「オフ」です。	「オフ」、「10 分」、 「20 分」、「30 分」、 「60 分」 から選択します。
アンダースキャン	メニューがモニタの表示範囲に収まらない場合などに有 効にすると自動調整します。 デフォルト設定は、「オフ」です。	
HDMI1 互換 オフセットフレーム	HDMI1 に接続したディスプレイで表示画面のずれが発 生した場合に画面を正確な位置に修正します。 デフォルト設定は、「オフ」です。	

日付と時刻

日付と時刻では、
 日付と時刻の表示形式
 時刻同期プロトコル(NTP)の設定
 マニュアルによる日付と時刻
 の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
日付表示形式	ホーム画面右下に表示される日付の表示形式を設定します。 デフォルト設定は、「yyyy-mm-dd」です。	「yyyy-mm-dd」「mm-dd-yyyy」「dd-mm-yyyy」から選択します。
時刻表示形式	時刻の表示形式を設定します。 デフォルト設定は、「24 時間」です。	「24 時間」「12 時間」から選択します。
時刻同期プロトコル(NTP)を有効にする	時刻同期プロトコル(NTP)を用いて、ネットワーク上のシステムと時刻同期を行うことができます。 デフォルト設定は、「無効」です。	事前に時刻同期プロトコル(NTP)が利用できるかをシステム管理者に確認してください。
NTP サーバ	NTP サーバの IP アドレスを入力します。	
タイムゾーン	タイムゾーンの設定をします。 タイムゾーンは、協定世界時 (UTC) からのオフセットの整数時間(UTC-12~UTC+14)です。 日本の場合、UTC+9 です。	
最終更新日	最後に時刻同期した日時を表示します。	
年/月/日/時/分	手動で日時を設定する場合に入力を行います。 設定が完了したら、 適用 を選択し ↩ ボタンを押します。	過去時間に設定した場合、MEDIAPOINT HD を再起動する必要があります。

初期化

初期化では、
工場出荷時の設定に初期化
電話帳の削除
通話履歴の削除
を行うことができます。



以下の操作を行います。

設定項目	内容	備考
出荷時設定に初期化	システム設定を工場出荷時の状態に初期化します。 初期化後、装置が再起動します。	初期化を行う場合、事前にシステム情報のバックアップを行うことをお勧めします。
電話帳の削除	電話帳の内容を削除します。 削除する場合、事前に電話帳に登録している連絡先リストをバックアップしておくことをお勧めします。	
通信履歴の削除	通信履歴を削除します。	

初期レイアウト

初期レイアウトでは、
レイアウト(プレゼンテーションなし)
レイアウト(プレゼンテーションあり)
PIP 表示時間
の設定を行うことができます。



以下の操作を行います。

設定項目	内容	備考
レイアウト (プレゼンテーションなし)	会議開始時の画面レイアウトを設定します。 デフォルト設定は、「レイアウト-1」です。	「レイアウト-1」から「レイアウト-4」から選択します。
レイアウト (プレゼンテーションあり)	プレゼンテーション開始時の画面レイアウトを設定します。 デフォルト設定は、「レイアウト-1」です。	「レイアウト-1」から「レイアウト-6」から選択します。
PIP 表示時間	会議中の自地点映像の PIP 表示時間を設定します。 デフォルト設定は、「5 秒」です。	「常時」「5 秒」「1 分」「10 分」「30 分」「60 分」から選択します。

ネットワーク

ネットワークでは、
IP ネットワークの設定
SIP
H.323 ゲートキーパ
の設定を行うことができます。

ネットワーク設定画面を表示するには、ホームメニューの設定メニューからネットワークを選択し、 ボタンを押します。



以下の設定を行います。

設定項目	内容
IPv4 設定	IPv4 に関する設定を行います。
IPv6	IPv6 に関する設定を行います。
ファイアウォール	NAT 構成などファイアウォールに関する設定を行います。
SIP	SIP 通信に関する設定を行います。
SIP 設定	SIP サーバに関する設定を行います。
H.323 ゲートキーパ	ゲートキーパに関する設定を行います。

IPv4 設定

IPv4 関連の各種設定を行います。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考	
IP アドレス設定	DHCP	ネットワーク上の DHCP サーバによって割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。取得時、IP アドレスと関連情報を表示します。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
	固定 IP	ご利用になるネットワーク環境において、割り当てられた IP アドレスに固定して使用します。	
	PPPoE	インターネットプロバイダより付与されるユーザ ID、パスワードを登録します。登録後、グローバル IP アドレスの取得を行います。	
IP アドレス	固定 IP を選択した場合、手動で IP アドレスを入力します。		
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。		
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。		
優先 DNS サーバ	優先および代替 DNS サーバのアドレスを入力します。		
代替 DNS サーバ			

重要

LANを接続した状態でないと、ネットワーク設定を適用することができないので注意してください。

IPv6

IPv6 関連の各種設定を行います。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
IP アドレス設定	固定 IP ご利用になるネットワーク環境において、割り当てられた IP アドレスに固定して使用します。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
	自動 ネットワーク上のサーバによって割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。	
IP アドレス	固定 IP を選択した場合、手動で IP アドレスを入力します。	
プレフィックス長	プレフィックス長は、ネットワーク部分とノード部分を区別するために必要なネットワーク部分の長さ(bit 長)を設定します。 デフォルト設定は、「7」です。	
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。	

重要

LANを接続した状態でないと、ネットワーク設定を適用することができないので注意してください。

ファイアウォール

ファイアウォールでは、
TCP/UDP ポート
UPnP の有効/無効
NAT 環境
の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
TCP ポート	テレビ会議を行う際、TCP ポートを利用して、通信の開始処理を行います。この通信で使用するポート番号を設定します。 デフォルト設定は、「51000～51299」です。	変更する場合、システム管理者に設定情報を確認してください。
UDP ポート	テレビ会議を行う際、映像、音声、プレゼンテーションなどのデータは、UDP ポートを利用して、送受信を行います。この通信で使用するポート番号を設定します。 デフォルト設定は、「61000～61299」です。	
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) に対応しているブロードバンドルータに接続する場合、有効にします。 デフォルト設定は、「無効」です。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
NAT 構成	NAT (Network Address Translation) 環境下で、システムを使用するか否かを設定します。 使用する場合、NAT Public (WAN) アドレスの設定が必要となります。 デフォルト設定は、「自動」です。	「自動」「オン」「オフ」から選択してください。
NAT Public (WAN) アドレス	NAT (Network Address Translation) 環境下で、システムを使用する場合、プライベート IP アドレスとは別に WAN 側のアドレス情報を入力します。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。

SIP では、
 SIP サイト名
 使用するプロトコル
 SIP ポートの設定
 SIP 通信の有効/無効
 BFCP の有効/無効
 SRTP の有効/無効
 STUN サーバ
 の設定を行うことができます。
 事前にシステム管理者に設定情報を
 確認してください。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
SIP サイト名	SIP 通信時に相手先に送信するサイト名を入力します。 デフォルト設定は、「MEDIAPPOINT」です。	使用禁止文字については p.55 を参照してください。
インターネットプロトコル	SIP 通信を行う際のインターネットプロトコルを設定します。 デフォルト設定では、「IPv4」です。	「IPv4」「IPv6」から選択します。
SIP トランスポートプロトコル	SIP 通信を行う際のトランスポートプロトコルを設定します。 デフォルト設定は、「UDP」です。	「UDP」「TCP」から選択します。
SIP ポート	SIP 通信において、セッション処理を行う通信ポートを設定します。一般的にポート番号は、「5060」と定義されています。 デフォルト設定は、「5060」です。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
BFCP	SIP 通信において、プレゼンテーションを行う場合のプロトコルを設定します。 デフォルト設定は、「UDP」です。	「オフ」「UDP」「TCP」から選択します。
SRTP を有効にする	SRTP の使用の有効/無効の設定を行います。 デフォルト設定は「無効」です。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
STUN サーバ	STUN サーバの IP アドレスを入力します。	
STUN ポート番号	STUN サーバのポート番号を入力します。 デフォルト設定は、「3478」です。	
STUN サーバを有効にする	STUN サーバを使用する場合は有効にします。 デフォルト設定は、「無効」です。	

Point !

STUN サーバ(Simple Traversal of UDP through NATs)は、音声、映像などの双方向リアルタイム IP 通信を行うアプリケーションにおいて、NAT traversal(NAT 通過)の方法の 1 つとして標準化されたプロトコルです。

SIP 設定

SIP 設定では、
 SIP 通信の動作モード
 SIP サーバに登録する IP 電話番号
 アカウント/パスワード
 レジストラサーバ
 プロキシサーバ
 の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
動作モード	SIP 通信の動作モードを設定します。 デフォルト設定は「クライアントモード」です。	「クライアントモード」「サーバモード」「オフ」から選択します。

クライアントモードの場合

設定項目	内容	備考
IP 電話番号(SIP)	SIP サーバを利用することで、IP アドレスでのダイヤルではなく、IP 電話番号でのダイヤルが可能となります。 設定情報を確認の上、IP 電話番号を入力します。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
アカウント	ご利用になる SIP サーバ環境において、アカウント名、	
パスワード	パスワードが付与されている場合、「アカウント」「パスワード」を入力します。	
レジストラサーバ	ご利用になる SIP サーバのアドレス情報を入力します。	
プロキシサーバ		
アカウントを有効にする	SIP サーバを使用する場合、上記の項目を入力後、有効にします。登録ボタンを選択して、右横に緑色のチェックマークが表示されれば登録完了です。	

サーバモードの場合

設定項目	内容	備考
認証モード	SIP サーバの認証方法を設定します。 デフォルト設定は「パスワード」です。	「匿名」「パスワード」から選択します。
パスワード	SIP 登録認証時のパスワードを設定します。 デフォルト設定は「1234」です。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。
サーバ ID	SIP サーバのサーバ ID を設定します。 デフォルト設定は「1000」です。	
ドメイン名	SIP サーバのドメイン名を設定します。	
登録済みユーザー	SIP サーバに登録されたユーザーの一覧を表示します。	

H.323 ゲートキーパ

H.323 ゲートキーパでは、ゲートキーパに登録する際に必要となる

H.323 名

IP 電話番号

ゲートキーパのアドレスの設定

H.460 トラバーサルの有効／無効の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	内容	備考
H.323 名	ゲートキーパに登録するシステム名を入力します。 デフォルト設定は、「MEDIAPPOINT」です。	
IP 電話番号(H.323)	H.323 通信において、ゲートキーパを利用することで、IP アドレスでのダイヤルではなく、IP 電話番号でのダイヤルが可能となります。設定情報を確認の上、IP 電話番号を入力します。デフォルト設定は、「0」です。	
ゲートキーパの IP アドレス	ご利用になるゲートキーパのアドレス情報を入力します。 デフォルト設定は、「0.0.0.0」です。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。 H323.名の使用禁止文字については p.55 を参照してください。
認証	認証モードを使用する場合は有効にします。 デフォルト設定は、「無効」です。 「有効」にすると、以下の「ユーザー名」「パスワード」の項目が有効になります。	
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	
パスワード	パスワードを設定します。	
ゲートキーパを使用する	ゲートキーパを使用する場合は有効にします。 デフォルト設定は、「無効」です。	
H.460 トラバーサルを有効にする	H.460 トラバーサルを利用する場合は有効にします。 デフォルト設定は、「無効」です。 ファイアウォール内のポート転送のポートを設定してください。	

ビデオ/オーディオ

ビデオ/オーディオ設定画面を表示するには、ホームメニューの設定メニューから、ビデオ/オーディオを選択し、 を押ししてください。



以下の設定を行います。

設定項目	内容
カメラ設定	ホワイトバランスなど、専用カメラに関する設定を行います。
マイク設定	マイクゲインなど、専用マイクに関する設定を行います。
ビデオ設定	使用するビデオコーデックなど、ビデオに関する設定を行います。
ビデオコーデック (プレゼンテーション)	プレゼンテーションで使用するビデオコーデックに関する設定を行います。
オーディオ設定	使用するオーディオコーデックなど、オーディオに関する設定を行います。

カメラ設定

カメラ設定では、
 専用カメラのホワイトバランス
 露出の調整
 フリッカー防止の周波数設定
 専用カメラ上下反転
 の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	設定項目	設定項目
ホワイトバランス	ホワイトバランスは、写真で白い対象物が白くなるように照明を調節するカメラ設定です。デフォルト設定は、「自動」です。	「自動」「曇天」「晴天」「蛍光灯」「白熱灯」から選択します。
露出	写真の露出は、専用カメラで撮影したときに画像をどれくらい明るくまたは暗くするかを決定します。デフォルト設定は、「自動」です。	自動または 1～9 から選択します。
周波数	東日本 50Hz、西日本 60Hz の蛍光灯の周波数によるフリッカー防止のための設定です。デフォルト設定は、「自動」です。	「自動」「50Hz」「60Hz」「OFF」から選択します。
シャープネス	被写体の輪郭の強調度合いを設定します。デフォルト設定は、「中」です。	「オフ」「低」「中」「高」から選択します。
カメラ上下反転設定を有効にする	カメラ上下反転設定を有効にすると、出力される映像の上下が反転します。専用カメラが逆さまの状態で設置されたときなどに有効にします。デフォルト設定は、「無効」です。	
カメラフォーカスモード	専用カメラのフォーカス動作を設定します。デフォルト設定は「ワンショットフォーカス」です。	「ワンショットフォーカス」「顔認証」「オートフォーカス」から選択します。
3D デノイズを有効にする	3D デノイズは、暗い部屋での映像のノイズを低減する機能です。デフォルト設定は、「無効」です。	
シーンモード	モアレフリーに設定した場合、映像のモアレ(縞模様のノイズ)を低減します。デフォルト設定は「標準」です。	「標準」「モアレフリー」から選択します。

マイク設定

マイク設定では、
 マイクゲインの調整、
 音声入力の選択
 送信音声の選択
 ブロードキャストサポート(HDMI-2)
 の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	設定項目	設定項目
マイクゲイン	専用マイクの送信ゲインを調整します。 デフォルト設定は、「5」です。	1～9 から選択します。
音声入力選択	Audio IN の接続状態に合わせて設定します。 デフォルト設定は、「マイクイン」です。 <ul style="list-style-type: none"> ・マイクイン 専用マイクと AudioIN からの入力音声を送信する場合に選択します。 ・AudioIn(AEC あり) Audio IN に AEC 機能のないマイクを接続した場合に選択します。 専用マイクはマイクオフになります。 ・AudioIn(AEC なし) Audio IN に AEC 機能のあるマイクを接続した場合に選択します。 専用マイクはマイクオフになります。 	「マイクイン」「AudioIn(AEC あり)」「AudioIn(AEC なし)」から選択します。
AudioIN 入力音声を送信する	AudioIN 入力ポートに入力した音声を送信する地点を設定します。 デフォルト設定は「両方」です。	「相手」「自分」「両方」から選択します。
HDMI 入力音声を送信する	DVI(HDMI)入力ポートに入力した音声を送信する地点を設定します。 デフォルト設定は「両方」です。	「相手」「自分」「両方」から選択します。
ブロードキャストサポート(HDMI-2)	この機能を有効にすると、自室の MEDIAPOINT HD に入力した音声を、HDMI 2 出力ポートに接続した機器のスピーカから出力します。 デフォルト設定は、「無効」です。	

ビデオ設定

ビデオ設定では
ビデオコーデック
の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	設定項目	設定項目
ビデオ設定	<p>通信時に使用するビデオコーデックを有効にします。デフォルトは、「H.263」「H.263+」「H.264」が「有効」です。(H.263は無効にできません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「H.264」は、1024kbps 以上で 720p、2048kbps 以上で 1080p の解像度で通信することができます。 ・「H.264HP」は、512kbps 以上で 720p、1024kbps 以上で 1080p の解像度で通信することができます。 ・「H.264 SVC」は、2048kbps 未満、照度 10lux 以上の環境での使用を推奨します。 ・「H.264HP」「H.264 SVC」の接続は、MEDIAPPOINT HD 対向接続のみ推奨します。 	<p>事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。</p>

ビデオコーデック(プレゼンテーション)

ビデオコーデック(プレゼンテーション)では
プレゼンテーション時のビデオコーデック
の設定を行うことができます。



以下の設定を行います。

設定項目	設定項目	設定項目
ビデオコーデック (プレゼンテーション)	<p>プレゼンテーション時に使用するビデオコーデックを有効にします。 デフォルトは、H.263、H.263+、H.264 が「有効」です。 H.263 は無効にできません。</p> <p>「H.264HP」は 512kbps 以上で 720p、1024kbps 以上で 1080p の解像度で通信することができます。 H.264HP での接続は、MEDIAPPOINT HD 対向接続のみ保証します。</p>	<p>事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。</p>

オーディオ設定

オーディオ設定では
オーディオコーデック
の設定を行います。



以下の設定を行います。

設定項目	設定項目	設定項目
オーディオコーデック	通信時に使用するオーディオコーデックを有効にします。 デフォルトは、すべてのコーデックが「有効」です。 G711.aLawとG711.μLawは無効にできません。	事前にシステム管理者に設定情報を確認してください。

Web ブラウザ編

Web ブラウザアクセス機能

Web ブラウザアクセス機能の操作方法について、説明します。

Web ブラウザからもリモコン操作と同様に以下の設定・操作が可能です。ここでは、Web ブラウザ特有の機能について説明します。

1. ダイアル
2. 通信履歴
3. 電話帳
4. 環境設定
5. ネットワーク
6. ビデオ/オーディオ

Web ブラウザアクセス機能を利用するには

この機能を利用するには、Internet Explorer のバージョン 9 以上、もしくは HTML5 に対応した Mozilla Firefox、Google Chrome である必要があります。

使用する Web ブラウザは Internet Explorer のバージョン 9 以上を推奨します。

ここでは Internet Explorer 11 を用いた場合で説明します。

Web ブラウザ特有の機能

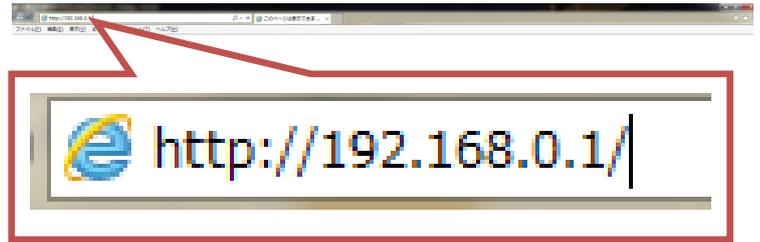
- ・回線不安定時のポップアップメッセージの表示、非表示の切り替え
- ・2 地点追加オプションの登録
- ・電話帳ファイルのダウンロード/アップロード
- ・システム設定のダウンロード/アップロード
- ・USB メモリを用いないシステムのアップデート
- ・ひらがな、カタカナ、漢字の入力が可能
- ・仮想リモコンの操作
- ・単一色背景⇄カメラ映像の切り替え
- ・プレゼンテーションとカメラ映像の通信速度の割合の設定

Web ブラウザで利用できない機能

- ・録画ファイルの再生・削除の操作
ただし、仮想リモコンより録画操作は可能
- ・USB メモリへの、システム設定およびログファイル保存機能
ただし、システム設定およびシステムログを PC に保存することが可能

ログイン方法

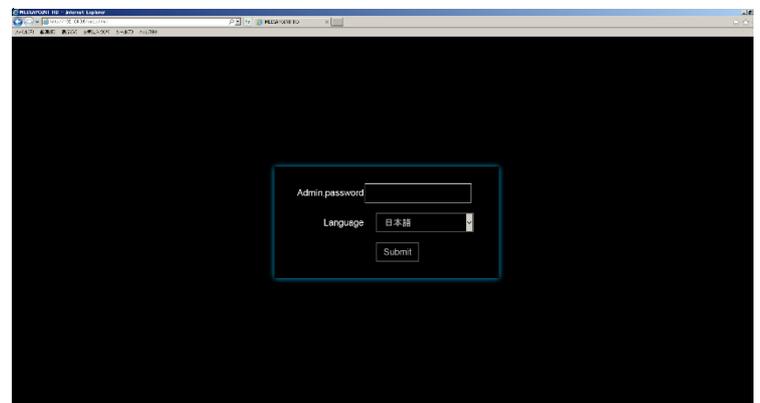
Web ブラウザのアドレス欄に
MEDIAPPOINT HD の IP アドレス
(例: <http://192.168.0.1/>)を入力します。



ログイン画面で、使用する言語を選択し、パスワードを入力することでログインできます。

Point !

- ・パスワードの初期値は 1234 です。
- ・パスワードは[環境設定]の[管理者]メニューの管理者パスワードで変更ができます。



ログイン後、ホームメニューを表示します。



Point !

画面左上に表示されているアイコン( または )をクリックすることで単一背景色画面と自室のカメラ映像を切り替えることができます。

ESC キーを押すことで、ホームメニューを表示/非表示を切り替えることができます。

連絡リストの管理

MEDIAPOINT HD の連絡先リストをダウンロード/アップロードをすることができます。また、新しい連絡先やグループを作成する際にひらがな、カタカナ、漢字を使用することができます。

電話帳ファイルを別の MEDIAPOINT HD にもアップロードすることができます。

連絡先リストのダウンロード

MEDIAPOINT HD から連絡先リストをダウンロードできます。

1. [電話帳]の[アップロード/ダウンロード]をクリックします。
2. [連絡先リストのダウンロード]をクリックします。
3. PC 内の任意の場所にファイルを保存します。

※ダウンロードされる連絡先リストのデフォルト名は「phonebook.xml」です。



連絡先リストのアップロード

MEDIAPOINT HD に連絡先リストをアップロードできます。

1. [電話帳]の[アップロード/ダウンロード]をクリックします。
2. [参照]をクリックして、PC 内にある電話帳ファイル(xml ファイル)を指定します。
3. [連絡先リストをアップロードする]をクリックして、指定した電話帳データをアップロードします。
4. 正常にアップロードが完了した場合、「電話帳が更新されました。」と画面に表示します。



連絡先リストの編集

MEDIAPOINT HD からダウンロードした連絡先リストを編集する方法について説明します。

1. Microsoft Excel などの xml ファイルを編集できるソフトを用いて、MEDIAPOINT HD からダウンロードした電話帳データ(xml)を開きます。
2. 地点名・IP アドレス(H.323/SIP)・通信速度・グループ名が編集できます。
3. 編集が終了したら、再度 xml ファイルとして保存します。

【入力規則】

デフォルトで用意されているグループ名「その他」には、「{Not Grouped}」という文字列が入力されています。また、デフォルト通信速度には「AUTO」と入力されています。

以下の操作を行った場合、正常にアップロードをすることができません

- ・1 行目の site、H.323、SIP、call_quality、group の書き換え
- ・site、H.323、SIP、call_quality、group 列以外への入力
- ・正しくない IP アドレスを入力
- ・通信速度に「4096」「3072」「2048」「1920」「1536」「1024」「768」「512」「384」「256」「128」「64」「AUTO」以外の値を入力

【編集例】

各列は以下のパラメータに対応しています。

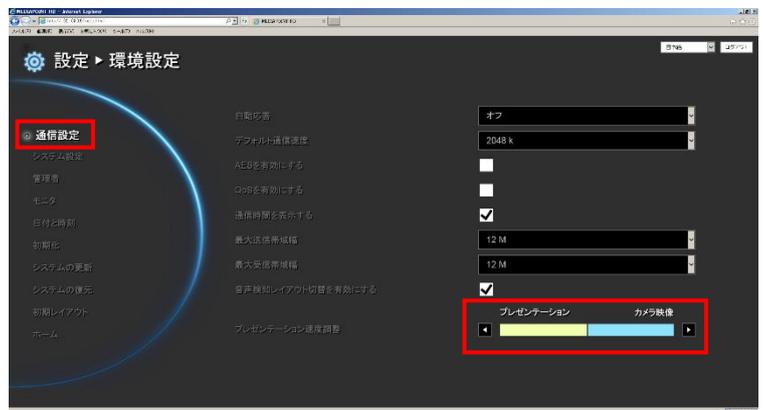
site	H.323	SIP	call_quality	group
地点名	IP アドレス(H.323)	IP アドレス(SIP)	通信速度	グループ名

site	H.323	SIP	call_quality	group
Tokyo	192.168.0.100	192.168.0.100	AUTO	{Not Grouped}
Osaka	192.168.0.101		AUTO	{Not Grouped}
Nagoya		192.168.0.102	1024	Group A
広島	192.168.0.104		512	グループ B

プレゼンテーション速度調整

会議時のプレゼンテーションの通信速度を調整できます。

1. [環境設定]の[通信設定]をクリックします。
2. **プレゼンテーション速度調整**の矢印ボタンをクリックします。
通信速度の10～50%の間でプレゼンテーションに使用する通信速度の割合を10%刻みで調整できます。



回線不安定時メッセージの表示

回線不安定時のポップアップメッセージの、表示/非表示を切り替えることができます。

1. [環境設定]の[システム設定]をクリックします。
2. **回線不安定時にメッセージを表示する**のチェックボックスを設定します。
デフォルトは、「有効」です。



2 地点追加ライセンスの登録

2 地点追加ライセンスオプションを登録する事ができます。

1. [環境設定]の[ライセンス]をクリックします。
2. [ライセンスを追加]をクリックします。
ライセンスコードの入力画面が表示されますので、購入されたライセンスコードを正しく入力して、[アクティベーション]をクリックします。

アクティベーションに成功すると、「最大地点数」の値が更新されます。



Point !

[ライセンス消去]をクリックすると、登録済みのライセンスを削除することができます。
削除したライセンスは、他の TC-2600 で使用することができます。

Point !

ライセンスを登録するためには、TC-2600 をインターネット回線に接続する必要があります。
インターネットに接続する環境が無い場合は、以下の方法でご対応させていただきます。

- ・事前にライセンスを登録して出荷させていただきます。
- ・インターネットに接続可能なモバイルルータをお貸し出します。

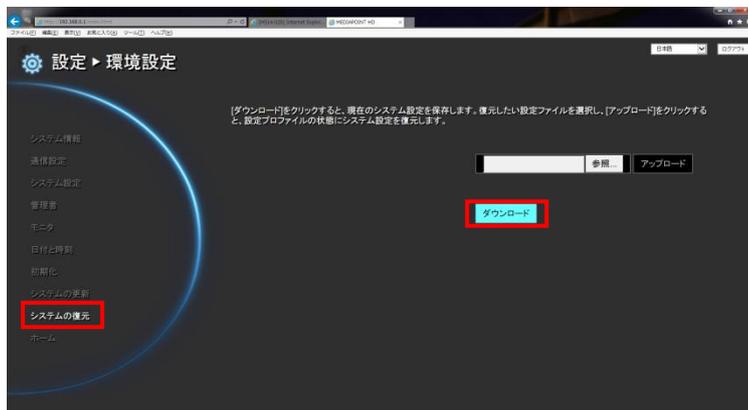
システム設定の管理

MEDIAPOINT HD のシステム設定をダウンロード/アップロードすることができます。

システム設定のダウンロード

1. [環境設定]の[システムの復元]をクリックします。
2. **ダウンロード** をクリックします。
3. 保存場所を指定し、システム情報設定ファイルのダウンロードを開始します。

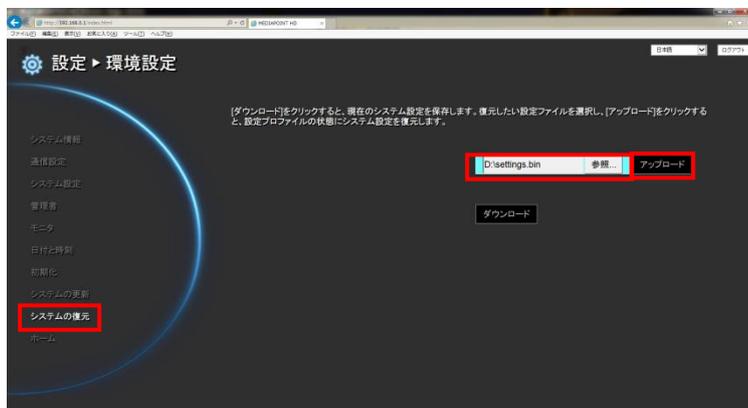
※ダウンロードされるシステム設定情報ファイルのデフォルト名は「settings.bin」です。



システム設定のアップロード

Web ブラウザから保存したシステム設定情報のファイルをアップロードすることで、システム設定を復元することができます。

1. [環境設定]の[システムの復元]をクリックします。
2. [参照]をクリックし、復元したいシステム設定情報ファイル(bin ファイル)を指定します。
3. [アップロード]をクリックします。
4. アップロード完了後、システムが再起動され、システムが復元されます。



Point !

システム設定ファイルを別の MEDIAPOINT HD にもアップロードすることができます。

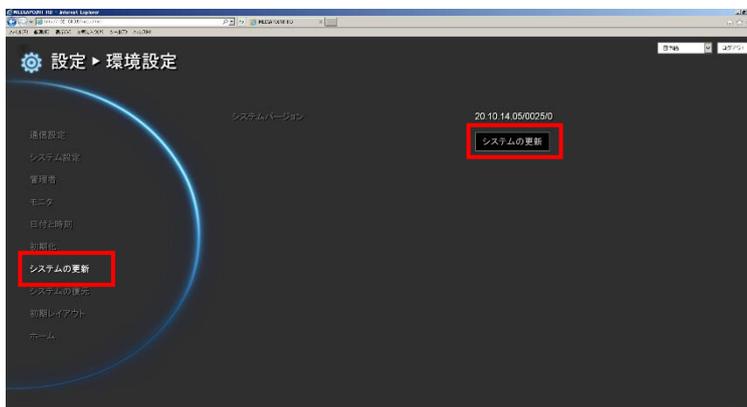
システムのアップデート

Web ブラウザからシステムのファームウェアをアップデートできます。

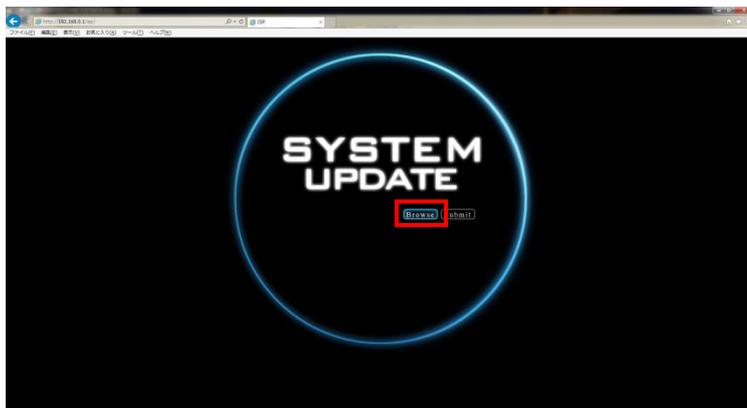
最新のファームウェアは弊社ホームページ(https://www.necplatforms.co.jp/product/mp_hd/)よりダウンロードしてください。

1. [環境設定]の[システムの更新]をクリックします。

2. **システムの更新** をクリックします。

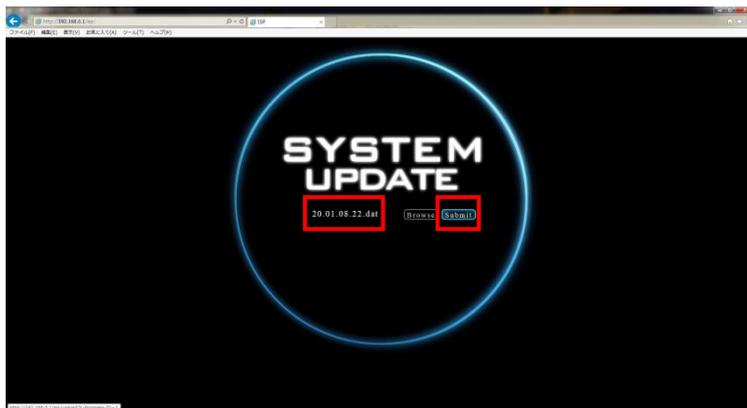


3. **Browse** をクリックして、ファームウェアファイルを指定します。



4. 指定したファームウェアファイルであることを確認します。

5. **Submit** をクリックします。



6. システムアップデート確認画面が表示され、アップデートを開始するには[はい]を、中止するには[キャンセル]をクリックしてください。

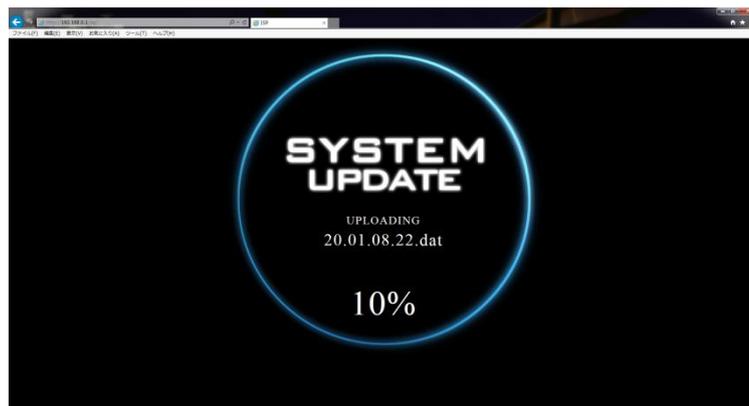
※システムアップデートには数分かかります。



7. [はい]をクリックすると、ファームウェアファイルのアップロード、およびシステムアップデートを開始します。

8. アップデート完了後、MEDIAPPOINT HD が再起動します。また、Web ブラウザにはアップデートが完了したことを示すメッセージが表示されます。

[OK]をクリックしてブラウザを再起動してください。



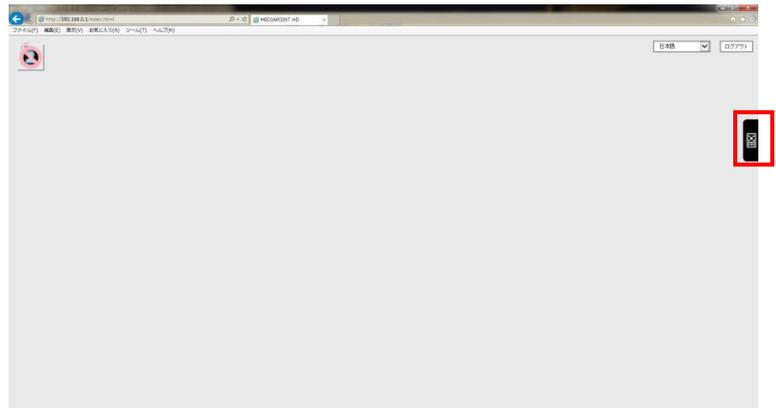
システムアップデート中は、以下の操作を行わないでください。アップデートが正常に行われず、故障の原因になります。

- ・電源ボタンの操作
- ・ブラウザを終了する

仮想リモコン

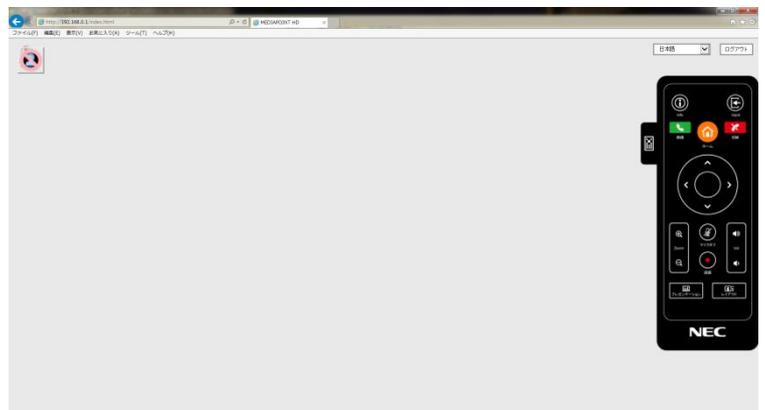
ホームメニューを非表示にした場合、仮想リモコンを表示します。

画面右側の黒いタブにマウスポインタを重ねてください。



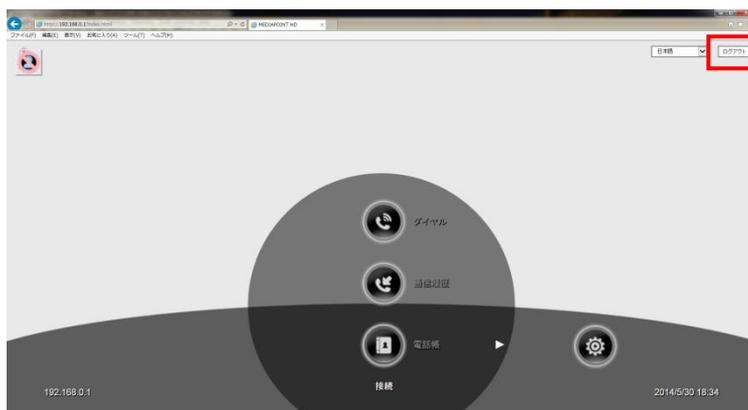
仮想リモコン上のボタンをクリックすることで、以下の機能が利用できます。

- ・ホームメニュー表示
- ・接続/切断
- ・info
- ・入力切替
- ・マイクオフ/オン
- ・録画
- ・専用カメラズーム+/-
- ・音量+/-
- ・プレゼンテーション
- ・レイアウト変更

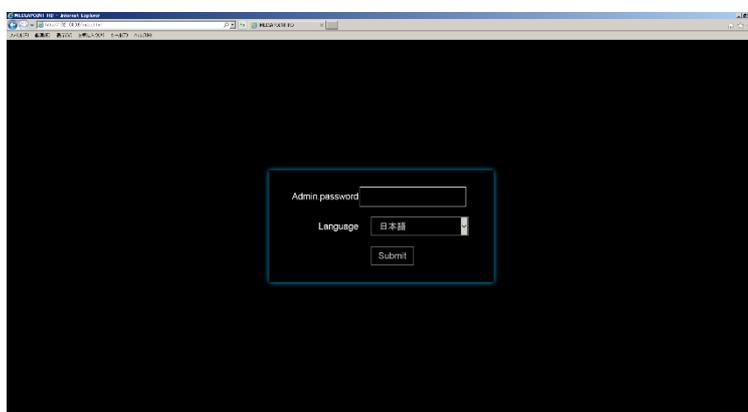


ログアウト方法

ログアウトするためには、画面右上にある
ログアウトをクリックしてください。



正常にログアウトすると、ログイン画面を
表示します。



困ったときは

故障かな？

症状	対策
電源ボタン LED が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・メインシステムに専用 AC アダプタが接続されているか確認してください。 ・専用 AC アダプタが電源コンセントに接続されているか確認してください。 ・電源コンセントから専用 AC アダプタのプラグを抜き、再度、接続してください。
リモートコントローラが効かない	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートコントローラの受光部は専用カメラにあります。専用カメラに向けて操作してください。 ・リモートコントローラの電池が切れていないか確認してください。電池を交換する際には、正しい向きで 2 本同時に新しい電池に交換してください。
画面に何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・HDMI ケーブルの接続を確認してください。 ・メインシステムの電源スイッチが ON になっているか確認してください。 ・ご使用のモニタの入力選択が HDMI となっているか確認してください。
青い画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・専用カメラケーブルの接続を確認してください。
通話中に音声が届かない	<ul style="list-style-type: none"> ・専用マイクが正しく接続されているか確認してください。 ・システムが適切な音量になっているか確認してください。 ・HDMI モニタの音量調整は適切か確認してください。 ・相手先のマイクがオフになっていないか確認してください。
自分の声が相手に伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・専用マイクがマイクオフになっていないか確認してください。 ・専用マイクが音声信号を受信するための最適な距離は 3m 以内です。専用マイクからの距離を確認してください。
音声の質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・専用マイクが壊れていないか確認してください。 ・[マイク ゲイン] を調節してみてください。 ・エコーを避けるために専用マイクをスピーカの近くに置いていないことを確認してください。
テレビ会議通信が確立されていますが、ビデオも音声も出力されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク上のルータに接続している場合、映像、音声、プレゼンテーションで使用するポートが通信できるように設定されていないことが考えられます。通信ができるように設定されているか確認してください。
発信を開始できず、「接続できませんでした」というメッセージが画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先の IP アドレスが正しいことを確認してください。 ・相手先のシステム設定において、[着信拒否]モードに設定していないか確認してください。
USB デバイスを検出しない	<ul style="list-style-type: none"> ・USB メモリを取り外してもう一度挿入してください。システムが新しい USB デバイスをもう一度検出するまで 10～15 秒間待ってください。 ・USB 2.0 以上の USB メモリを使用してください。 ・USB 接続の外部 HDD は使用できません。
ホームメニューやユーザインタフェースが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・UI 表示切替ボタンを押してみてください。もう一方のモニタ出力に切り替わっている可能性があります。
カメラ映像に波打つようなノイズがはいる	<ul style="list-style-type: none"> ・フリッカー現象が発生している可能性があります。[カメラ設定]の[周波数]を、ご利用になっている地域に合わせて変更してください。 東日本ならば 50Hz 西日本ならば 60Hz
文字が入力できない	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を入力する箇所によって使用禁止文字があります。一覧は p.55 を参照してください。

MEDIAPOINT HD の情報提供

ホームページ(https://www.necplatforms.co.jp/product/mp_hd/)で、MEDIAPOINT HD に関する以下の情報を提供しています。

- ・オプション機器情報
- ・取扱説明書
- ・MEDIAPOINT HD ビデオマニュアル(TC-2500 用)

よくある質問と回答

● 社内 LAN に接続して使いたいのですが可能でしょうか？

社内 LAN をご利用になる場合は、セキュリティや接続の関係上、問題が発生するケースが多く見られます(ファイアウォールや QoS の問題など)。

テレビ会議を行う拠点間にファイアウォールが存在している場合は、通信上で制限が設けられているために、そのままではテレビ会議をご利用頂くことができない場合があります。

また、ファイアウォール以外に QoS も考慮する必要があります。

導入にあたっては、一度ネットワーク管理部門へご相談されることをお勧めします。

● 帯域はどれくらい確保すれば良いのですか？

2 地点間でテレビ会議を行う場合、目安として接続時の通信速度の 1.3 倍程度の帯域が必要となります。

● MEDIAPPOINT IP2、VisuaLinkTC-3100 と接続できますか？

MEDIAPPOINT IP2、VisuaLinkTC-3100 を最新バージョンにアップデートすることにより接続可能となります。

お手数ですが、NEC プラットフォームズのホームページより、最新バージョンをダウンロードし、MEDIAPPOINT IP2、VisuaLinkTC-3100 のバージョンアップを行ってください。

● 他社のテレビ会議システムと接続できますか？

相互接続試験は実施しておりますが、他社メーカーにおいては、モデル、バージョンの違いにより、接続性が異なることがあります。

弊社では、デモ用機材を準備しておりますので、事前に接続確認を実施することをお勧めします。

● 修理はどうなりますか？

NEC プラットフォームズのホームページにて、故障の状況をご連絡の上、修理を依頼してください。

https://www.necplatforms.co.jp/product/mp_hd/support.html?

弊社指定先(工場)に機器を送付していただく、 SENDBACK 方式となります。
訪問修理サービスは行っていません。

付録

アフターサービス

保証書について

- ・この製品には保証書がついています。
- ・ご購入時に「販売店名・保証期間・購入年月日」が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。販売店記入がない場合は領収書を提示していただくことがありますので、領収書も一緒に保管してください。
- ・保証期間はご購入日から1年間です。
- ・保証書を紛失したり、分解や改造したりすると保証期間内であっても修理は有料になります。また、修理できないことがあります。

保証期間中の修理は

- ・保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

- ・修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により、有料で修理させていただきます。

修理を依頼するときは、次のことをお知らせください

- ・会社名、住所、電話番号、ご担当者のお名前
- ・機種名 : MEDIAPPOINT HD
- ・モデル : TC-2600
- ・ご購入年月日
- ・故障の状態(できるだけ詳しく)
- ・シリアルナンバー(製品の底面に貼られたラベルに記載されています。)

アフターサービスについて

修理を依頼する前に、もう一度本書をご覧になり、故障かどうかご確認の上、お買い求めの販売店、または NEC プラットフォームズのホームページにて、ご依頼ください。

http://jpn.nec.com/engsl/pro/mp_hd/support.html

ポート番号一覧

MEDIAPOINT HD では、下表に示すポート番号を使用しています。
必要に応じて、ポートマッピング情報を設定してください。

なお、「H.323 制御処理・音声・映像・相手カメラ制御データ」については、
[設定]→[ネットワーク]→[ファイアウォール]で使用するポート番号を変更することができます。

ポート番号一覧

No	機能	ポート	タイプ
1	ゲートキーパ	1719	UDP
2	H.323 通信処理	1720	TCP
3	H.323 制御処理	51000 ~ 51299	TCP
	音声・映像・相手カメラ制御データ	61000 ~ 61299	UDP
4	HTTP インタフェース	80	TCP
5	Telnet	23	TCP
6	SIP	5060	TCP & UDP
	TLS	5061	TCP

仕様

モデル名		MCU モデル
型番		TC-2600
国際標準対応	通信プロトコル	H.323/SIP
	画像符号化方式	H.264/H.264HP/H.264SVC/H.263/H.263+
	音声符号化方式	G.711/G.722/G.728/G.722.1:Polycom®/G.722.1C:Polycom®
	その他	H.224/H.281 H.225,H.245,H.323AnnexQ 遠隔カメラ制御 H.239 デュアルストリーム
通信	通信速度	64kbps ~ 4096kbps
映像	カメラ	解像度 1080p(1920×1080)/720p(1280×720)/480p(848×480)/4CIF (704×576)/CIF(352×288)/SIF(352×240)
		フレームレート 30fps
	PCプレゼンテーション	対応解像度 1080p(1920×1080)/WSXGA+(1680×1050)/SXGA(1280×1024)/ WXGA(1280×1024)/720p(1280×720)/XGA(1024×768)/ SVGA(800×600)/D1(720×480)/VGA(640×480)
		フレームレート 30fps
音声	音声処理	エコーキャンセラ/オートゲインコントロール(AGC)/アドバンスドノイズリダクション
ネットワーク		NAT/ファイアウォールトラバースル(H.460/SIP)/Wake up On Lan(WOL)/ IPv4,IPv6 サポート/PPPoE/UPnP/パケットリカバリ機能/ネットワークタイム プロトコル(NTP)
セキュリティ	暗号化	H.235(AES)
入出力端子	回線インタフェース	IP(Ethernet®):10Base-T/100Base-TX/1000Base-T
	カメラ入力	専用カメラ入力 x1
	ビデオ入力	DVI(HDMI®)×1/VGA×1
	ビデオ出力	HDMI®×2/VGA×1
	マイク入力	専用マイク入力 x1
	オーディオ入力	ライン入力×1(3極 φ3.5mm ミニジャック)、DVI(HDMI®)×1
	オーディオ出力	ライン出力×1(3極 φ3.5mm ミニジャック)、HDMI®×1
	USB	USB2.0 ポート(Aタイプ) x2 (フロント)

ユーザ インタフェース	リモートコントローラ	赤外線リモートコントローラ
	ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 9 以上
	その他	複数画面レイアウト変更／22カ国言語対応／お気に入り発信(10件)／カメラプリセット／電話帳のダウンロード・アップロード／ファームウェアの更新／USBメモリによる録画機能
専用カメラ	方式	光学ズーム専用カメラ
	水平視野角	61°
	パン	±100°
	チルト	±25°
	ズーム	光学 16 倍
一般仕様	外形寸法	320mm(W) × 262.7mm(D) × 37.2mm(H) ※突起物を含まず
	質量	2.2kg 以下(本体のみ)
	動作環境	温度:0~40°C／湿度:20~80%(結露なきこと)
	保存環境	温度:-20~60°C／湿度:20~80%(結露なきこと)
	電源	専用 AC アダプタ(AC100V,50/60Hz) 36W 以下
	対応規格	VCCI クラス A 適合品、電気通信事業法、電気用品安全法